

令和 7 年版

# 消 防 年 報

須賀川地方広域消防組合

# はしがき

この消防年報は、令和6年中における広域消防業務と現有消防力全般にわたる事項について集録したものです。

統計等は、令和6年12月31日現在、その他については令和7年4月1日を基準にしております。

令和7年10月

須賀川地方広域消防本部



鏡石町 田んぼアート



鏡石町 岩瀬牧場



## 組合章

組合章の「い」は岩瀬・石川両地方の頭文字、「す」は須賀川の頭文字を図案化し、円形は団結、翼形は発展向上を示しております。

(昭和 50 年 7 月 3 日制定)

# 目 次

## 沿革

- 1 須賀川地方広域消防組合設立前の常備消防の沿革 ..... 1
- 2 須賀川地方広域消防組合のあゆみ ..... 3

## 総務

- 1 須賀川地方広域消防組合の位置 ..... 24
- 2 構成市町村の面積・人口・世帯数 ..... 24
- 3 執行機関及び議会議員等 ..... 25
- 4 庁舎現況・配置状況 ..... 26
- 5 組織 ..... 27
- 6 職員配置状況 ..... 28
- 7 職員勤続年数・年齢 ..... 29
- 8 職員研修状況 ..... 30
- 9 職員免許資格等取得状況 ..... 31
- 10 令和7年度一般会計予算 ..... 32

## 警防

- 1 消防本部・消防署等配置図 ..... 33
- 2 消防車両の現勢 ..... 34
- 3 消防機器の配置状況 ..... 36
- 4 応援協定等 ..... 37
- 5 市町村別各種災害等出場状況 ..... 38
- 6 市町村別消防水利状況 ..... 40

## 火災・救急・救助

- 1 市町村別・火災原因別出火件数 ..... 41
- 2 市町村別火災発生状況 ..... 42
- 3 月別火災件数 ..... 44
- 4 市町村別火災発生状況（円グラフ） ..... 44
- 5 出火率の推移 ..... 45

- 6 市町村別救急事故出場件数 ..... 46
- 7 救急事故月別出場状況 ..... 47
- 8 署所別・市町村別出場状況 ..... 48
- 9 市町村別医療機関搬送人員状況 ..... 49
- 10 年齢区分別搬送・傷病程度別搬送状況 ..... 50
- 11 救急率の推移 ..... 51
- 12 救急用機器の配置状況 ..... 52
- 13 事故種別救助出動状況 ..... 53
- 14 救助用機器の配置状況 ..... 54

## 予防

- 1 市町村別防火対象物 ..... 56
- 2 市町村別危険物施設 ..... 57
- 3 建築確認同意状況 ..... 58
- 4 市町村別三階以上の建築物棟数 ..... 59
- 5 広報・広聴活動実施状況 ..... 60

## 通信指令

- 1 消防通信施設等 ..... 61
- 2 高機能消防指令センターシステム系統図 ..... 62
- 3 通報受付状況 ..... 64
- 4 消防情報センター利用状況 ..... 64
- 5 気象状況 ..... 65

## 消防団

- 1 市町村消防団幹部名簿 ..... 66
- 2 市町村消防団員階級別実員 ..... 67
- 3 市町村消防団員の勤続年数 ..... 68
- 4 市町村消防団員の年齢 ..... 69
- 5 非常備消防力の配備状況 ..... 70

## 須賀川地方広域消防組合管内の一目統計

令和7年4月1日現在（火災・救急は令和6年中）

面積・人口・世帯・気象	面 積	人 口	世帯数	気 象
	992.77km <sup>2</sup> 	125,074人 	51,378世帯 	年平均気温 14.4°C 年間降雨量 926.0mm 

予算・機構・人事	消防予算	本部・署・所	職員数	消防団員数
	35億6,158万円 	消防本部 1 消防署 2 分署 6 分遣所 1 	職員定数 225人 実員 210人 (福島県派遣2名含む) 	団員定数 3,117人 実員 2,367人 

機械・施設	消防ポンプ自動車	特殊車両	救急自動車	消防水利
	ポンプ車 10台 (予備1台含む) タンク車 2台 	はしご車 1台 救助工作車 1台 化学車 2台 (予備1台含む) 水槽車 1台 	12台 (予備2台含む) 	公設消火栓 2,691基 公設防火水槽 957基 その他 18 

火災・救急	火災件数	主な出火原因	救急出場件数	救助出動件数
	建物火災 21件 林野火災 5件 車両火災 7件 その他の火災 13件 合計 46件 	1 その他 18件 2 枯草焼きたき火等 7件 3 たばこ 5件 	6,085件 一日当たり 16.7件 の割合で発生 	31件 

予防	防火対象物数	危険物施設数	立入検査数	消防同意数
	4,162対象物 	545施設 (完成検査済証交付施設)	防火対象物 714件 危険物施設 282件	特殊建築物 27件 一般建築物 62件



沿  
革

- ◆昭和30年発足当時の  
須賀川市消防本部庁舎
- ◆昭和30年3月  
～昭和44年11月
- ◆所在地  
須賀川市本町69番地



- ◆昭和48年広域消防へ移行時の  
消防本部庁舎
- ◆昭和52年4月まで
- ◆所在地  
須賀川市八幡町135番地



- ◆現庁舎
- ◆昭和52年5月から
- ◆所在地  
須賀川市丸田町153番地

# 1 須賀川地方広域消防組合設立前の常備消防の沿革

年 月	記	事
昭和30. 3	須賀川市	昭和30年3月1日 旧須賀川地区警察署跡を県から借り受け、署長以下21人で須賀川市消防署が開設される。 3月12日 旧第3分団で使用していた1935年式フォード市原ポンプ艤装の消防ポンプ自動車を配置、同日午後5時より実際に望楼、通信勤務を開始する。
		3月15日 1955年式トヨタジープ車（105馬力）に大阪森田ポンプ社艤装の消防ポンプ自動車が納入となり、八欧無線製中短波無線機を車載し、移動局1、基地局1で無線業務を開始する。
4	"	旧第4分団に配置されていたシボレー乗用車を改造した消防ポンプ自動車1台を増設する。
昭和32. 4	"	旧第7分団に配置されていたニッサン消防ポンプ自動車を大阪森田ポンプ社で水槽付（2t）消防ポンプ自動車に改造増設する。
昭和34. 3	"	職員1人増員、22人となる。
昭和35. 1	"	シボレー消防ポンプ自動車老朽のため廃車する。
4	"	職員1人増員、23人となる。
昭和36. 4	"	職員1人増員、24人となる。
昭和38. 10	"	水槽付消防ポンプ自動車を、森田式水槽付（1.8t）消防ポンプ自動車に化学消火剤を装備した1963年式トヨタ消防ポンプ自動車に更新する。
昭和39. 8	"	須賀川市総務課内にあった消防本部を消防庁舎内（本町69番地）に移設する。
10	鏡石町	役場職員8人、消防ポンプ自動車1台にて常備消防部を開設する。
12	岩瀬村	役場職員12人、消防ポンプ自動車1台にて本部班を結成する。
昭和40. 3	須賀川市	職員3人増員、27人となる。
5	"	須賀川ライオンズクラブより司令車として1965年式トヨタパブリカバンを寄贈される。
昭和41. 1	"	1月10日 1966年式ニッサン森田式消防ポンプ自動車を購入し、フォード車を更新する。
昭和42. 7	"	職員1人増員、28人となる。
10	"	10月30日 日本損害保険協会よりトヨタ日機式ジープ型消防ポンプ自動車を寄贈される。
12	"	須賀川地区危険物安全協会よりホンダドリーム300cc消火器積載二輪車を寄贈される。
昭和43. 2	"	須賀川ロータリークラブより救急自動車購入資金として100万円を寄贈される。

- 7 須賀川市 職員6人増員、34人となる。
- 8 " 8月5日 消防署開設時購入したトヨタ森田式ジープ型消防ポンプ自動車を第6分団小倉班に配置換えする。
- 昭和44. 2 " 2月17日 救急自動車（1968年式トヨタA級）を購入し、隊員5人にて救急業務を開始する。
- 11 " 八幡町135番地に鉄筋コンクリート2階建の消防庁舎が竣工し、移転する。  
延べ面積 615.462m<sup>2</sup>
- 昭和45. 4 古殿町 役場職員13人、消防ポンプ自動車1台にて消防業務を開始する。
- 10 須賀川市 本部に司令車（1969年式ニッサンプリンスグロリアSD）を配置する。
- 昭和46. 4 " 職員1人増員、35人となる。
- 昭和48. 3 " 須賀川地方広域消防組合の発足に伴い、須賀川市の消防職員35人全員が地方公務員法第28条第1項第4号の規定により3月31日付で分限退職、須賀川地方広域消防組合職員へ移行するとともに須賀川市消防本部（署）の庁舎及び全機械装備が広域消防組合へ無償譲渡となる。

## 2 須賀川地方広域消防組合のあゆみ

須賀川・岩瀬及び石川地方の消防組織は、須賀川市の消防署、鏡石町の常備消防部、岩瀬村及び古殿町の役場職員による常備消防組織と、管内各市町村の消防団との並立形態で運営され、各市町村間では相互に消防応援協定を結び、消防活動の合理化に努めてきた。

また、救急業務については、須賀川市で救急自動車1台を配置し救急活動を行っていたが、その他の町村では傷病者を救急隊以外の方法で搬送している状態で、救急体制はまったく零細であった。しかし、国民経済の高度成長による社会情勢の変化に伴い、消防・救急の需要は年々増加の傾向を示し、これに対処できる広域的な常備消防体制の整備を要望する声が高まりつつあった。

昭和46. 7. 14 当地方が、郡山地方広域市町村圏に設定されるや、これを機に積極的に常備消防力の広域化が推進され、当地方においては須賀川市消防本部（署）を中心とした広域常備消防システムの須賀川地方広域消防組合の設立計画が策定される。

昭和47. 12 各市町村の定例議会において広域消防組合設立が議決される。

昭和48. 2. 5 福島県知事に広域消防組合設立許可を申請する。

4. 1 48地第489号をもって設立が許可となり、同日付で須賀川市・岩瀬郡長沼町・鏡石町・岩瀬村・天栄村・石川郡石川町・玉川村・平田村・浅川町及び東白川郡古殿町の1市5町4村で組織する須賀川地方広域消防組合が発足する。

〃 旧須賀川市消防本部（署）庁舎に管理者の手により「須賀川地方広域消防本部」の看板が掲げられ、須賀川市から移管された機械装備と須賀川市から移行した職員35人、新規採用者4人、計39人の消防職員により広域消防の業務を開始する。須賀川市から無償譲渡された消防施設は次のとおりである。

(1)	庁 舎	鉄筋コンクリート2階建	延べ面積	615.462m <sup>2</sup>
(2)	油 庫	コンクリートブロック造		6.19m <sup>2</sup>
(3)	消防車両	水槽付（化学装備付）消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式）	1台	
		ジープ型消防ポンプ自動車（トヨタ 日機式）	1台	
		消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式）	1台	
		救急自動車（トヨタ A級）	1台	
	司 令 車	（ニッサンプリンス グロリアS D）	1台	
		広報連絡車（トヨタ パブリカバン）	1台	
		赤 バ イ（消火器付ホンダ ドリーム300cc）	1台	
(4)	無 線 基 地 局	1局		
		陸上移動局 16局（うち携帯局10局）		計17局
(5)	そ の 他	常備消防に供する一切の備品		

4. 20 須賀川地方広域消防組合議会初議会（臨時会）が須賀川市に招集される。
5. 1 石川、長沼両分署業務開始準備のため、職員を各2人配置する。  
〃 石川分署は石川町役場内に、長沼分署は長沼町梓衝公民館内に事務所を置く。  
〃 職員2人を採用し実員41人となる。
7. 1 職員20人を採用し、本署において2か月間の新任教養を行う。実員61人となる。
7. 10 職員1人を採用し実員61人となる。
7. 12 特殊無線技士資格取得のため8日間講習会を実施し、38人合格する。
7. 23 石川、長沼各分署に広報連絡車（ニッサン ブルーバードU）を配置する。
8. 1 職員2人を採用し実員63人となる。
8. 31 本署に救急自動車（ニッサン 3B型）を増車する。
10. 1 職員1人を採用し実員63人となる。
10. 3 石川分署に消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式 小型動力ポンプ積載）を配置するとともに職員を10人増員し、計12人で石川町公民館の一室を借り業務を開始する。
11. 13 長沼分署に消防ポンプ自動車（トヨタ 日機式 小型動力ポンプ積載）を配置するとともに職員を8人増員し、計10人で長沼町梓衝公民館の一室を借り業務を開始する。
11. 19 石川分署に救急自動車（トヨタ 2B型）を配置し、救急業務を開始する。

昭和49. 1. 30 長沼分署庁舎竣工する。

位 置 岩瀬郡長沼町大字木之崎字寺前77-6  
敷地面積 993.24m<sup>2</sup>  
構 造 鉄筋コンクリート造3階建、望楼鉄骨造地上20m  
延べ面積 421.43m<sup>2</sup>

2. 23 日本道路公団から救急自動車（ニッサン 3B型）が寄贈され、本署に配置する。
2. 28 石川分署庁舎、鏡石出張所庁舎及び浅川出張所庁舎竣工する。

#### 石川分署

位 置 石川郡石川町字松木下152  
敷地面積 1,210.89m<sup>2</sup>  
構 造 鉄筋コンクリート造3階建、無線塔地上27m  
延べ面積 384.50m<sup>2</sup>

#### 鏡石出張所

位 置 岩瀬郡鏡石町大字笠石字賀々田19-7  
敷地面積 1,574.67m<sup>2</sup>  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建、無線塔地上24m  
延べ面積 313.50m<sup>2</sup>

#### 浅川出張所

位 置 石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地157-4

敷地面積 2,366.73m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート造3階建、望楼鉄骨造地上20m

延べ面積 302.28m<sup>2</sup>

3. 25 平田出張所庁舎竣工する。

位 置 石川郡平田村大字鶴子字塚田32

敷地面積 2,377.3m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート造2階建、無線塔地上24m

延べ面積 318.75m<sup>2</sup>

4. 1 職員33人を採用し実員96人となる。

〃 平田、鏡石及び浅川各出張所へ職員を各3人配置し、開所準備に入る。

5. 1 平田、鏡石及び浅川各出張所へ職員を各7人増員し、各出張所とも10人にて開所する。

〃 平田、浅川各出張所に消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式 小型動力ポンプ積載）を配置する。

〃 鏡石出張所に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式 小型動力ポンプ積載）を配置する。

〃 石川分署に職員を1人増員し13人となる。

〃 長沼分署に職員を1人増員し11人となる。

6. 28 平田、鏡石及び浅川各出張所に広報連絡車（ニッサン スカイラインバン）を配置する。

7. 1 職員25人を採用し実員120人となる。

7. 5 本署に人員輸送兼器具搬送車（トヨタ ハイエースバン）を配置する。

7. 22 日本道路公団から寄贈の救急自動車を本署から長沼分署に配置換えするとともに、救急要員として職員を2人増員し、同分署の人員は13人となり、同時に救急業務を開始する。

9. 9 石川分署に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式）を増車する。

〃 長沼分署に消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式）を増車する。

10. 1 石川分署に職員を4人増員し17人、長沼分署に職員を2人増員し15人、平田出張所に職員を2人増員し12人となる。

11. 28 本署、長沼分署及び浅川出張所にゼネラル製望楼用監視テレビジョン装置を設置し、同年12月1日から監視業務を開始する。

12. 17 本署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（三菱 森田式 16m）を配置する。

昭和50. 2. 24 職員定数条例を改正し定員122人となる。

4. 1 職員3人を採用し実員122人となる。

〃 鏡石、浅川各出張所に職員を各1人増員し各11人となる。

7. 21 本署に広報連絡車（ニッサン スカイラインバン）を増車する。

8. 26 第2回郡山地方行政連絡室管内ポンプ操法大会が須賀川市牡丹台野球場で実施される。

11. 13 平田出張所に救急自動車（トヨタ 1969年式A級）を配置し救急業務を開始する。

昭和51. 1. 12 消防本部（消防署）庁舎建築着工する。

2. 20 須賀川中央ライオンズクラブから広報連絡車（トヨタ カローラバン）の寄贈を受け本署に配置する。

3. 31 古殿分遣所庁舎竣工する。

位 置 東白川郡古殿町大字松川字横川99-1

敷地面積 1,737.0m<sup>2</sup>

構 造 鉄骨造2階建、無線塔地上24m

延べ面積 258.09m<sup>2</sup>

4. 10 古殿町から消防ポンプ自動車（ニッサン 1970年式日造市原式FG60型）の無償譲渡を受ける。

5. 10 古殿町から譲渡を受けた消防ポンプ自動車に小型動力ポンプを積載し古殿分遣所に配置、併せて職員を5人配置し業務を開始する。

6. 17 財団法人日本消防協会から広報連絡車（三菱 ランサーバン）の寄贈を受け、古殿分遣所に配置する。

7. 1 職員2人を採用し実員123人となる。

12. 21 日本損害保険協会から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け、同月24日平田出張所に配置する。

12. 23 湯本分遣所庁舎竣工する。

位 置 岩瀬郡天栄村大字田良尾字五倫林山4

敷地面積 897.71m<sup>2</sup>

構 造 鉄骨造2階建、無線塔地上26m

延べ面積 庁舎204.72m<sup>2</sup> 待機宿舎71.22m<sup>2</sup>

昭和52. 3. 3 職員定数条例を改正し定員142人となる。

3. 30 消防本部（消防署）庁舎竣工する。

位 置 須賀川市大字西川字丸田90

敷地面積 4,936.35m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート造3階建、塔屋、鉄塔付き

延べ面積 2,083.655m<sup>2</sup>

設 備 消防・救急指令装置（C型）、テレビ監視装置、自家発電設備、  
気象観測装置

3. 31 消防本部に防火水槽（93.8m<sup>3</sup>）完成する。

4. 1 職員12人を採用し実員135人となる。

4. 26 消防本部（消防署）新庁舎に移転し業務を開始する。

5. 1 古殿分遣所に職員を3人増員し8人となる。

5. 6 湯本分遣所に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式 小型動力ポンプ積載）及び職員を4人配置し業務を開始する。
  8. 3 第27回福島県連合水防演習が須賀川市大字西川地内釈迦堂川で実施される。
  10. 8 湯本分遣所に広報連絡車（スバル レオーネエーストートバン）を配置する。
  10. 29 湯本分遣所に救急自動車（ニッサン 2B型）を配置し救急業務を開始する。
  12. 14 本署に小型動力ポンプ付水そう車（三菱 森田式 水槽10t）を配置する。
- 昭和53. 1. 17 石川分署に水槽付消防ポンプ自動車（日野 森田式 水槽2.0t）を配置し、既配置の消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式）を本署に配置換える。
- 〃 日本自動車工業会から救急自動車（ニッサン 2B型）が寄贈され本署に配置する。
2. 1 職員2人を採用し実員137人となる。
  2. 28 消防本部の訓練塔及び自家用給油取扱所竣工する。
  8. 4 本署に広報連絡車（スバル レオーネバン）を配置する。
  8. 31 消防本部に司令車（トヨタ クラウン）を配置する。
  9. 27 本署に消防ポンプ自動車（三菱 森田式 CD-II型）を配置する。
- 昭和54. 1. 22 消防本部耐煙訓練棟竣工する。
3. 22 須賀川消防情報センター（TEL 76-8181=ハイハイ情報センター）開局し、火災・救急等災害情報の24時間電話サービスを開始する。
  4. 1 職員5人を採用し実員140人となる。
  7. 1 古殿分遣所に職員を1人増員し9人、湯本分遣所に職員を1人増員し5人となる。
  8. 23 第4回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が石川町民グラウンドで実施される。
- 昭和55. 4. 1 職員定数条例を改正し定員145人となる。
- 〃 職員2人を採用し実員142人となる。
8. 30 財団法人日本消防協会から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け本署に配置する。
  10. 1 長沼分署に職員を2人増員し17人、平田出張所に職員を1人増員し13人となる。
  10. 8 本署に化学消防ポンプ自動車（三菱 森田式 II型、水槽1.3t、薬液槽0.5t）を配置する。
  11. 15 鏡石町国土調査に伴う住居表示の変更により、鏡石出張所の位置「鏡石町大字笠石字賀々田19-7」が「鏡石町大字笠石字旭町160」に変更される。
  12. 15 湯本分遣所待機宿舎増設工事竣工する。
- 昭和56. 4. 1 職員4人を採用し実員145人となる。
- 〃 福島県消防協会須賀川支部事務局が岩瀬地方町村会事務局から本組合へ移管となる。
5. 28 第34回福島県下消防大会が新装となった須賀川市文化センターで開催される。
  9. 1 昭和56年度福島県総合防災訓練が須賀川市西川地区で開催される。
  11. 1 4週5休制試行開始

- 昭和57. 3. 20 本署に救助工作車（日野 森田式 II型、フロントワインチ装置5t、クレーン装置2.9t、その他各種救助資器材積載）を配置する。
6. 1 本署から古殿分遣所へ救急自動車（トヨタ 1968年式A級）を配置換えし救急業務を開始する。
8. 13 本署に人員輸送車（三菱 29人乗り）を配置する。
8. 24 財団法人日本消防協会から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け古殿分遣所に配置する。（同年6月1日古殿分遣所へ配置の救急自動車は本署へ配置換えとなる。）
9. 30 消防本部に小型電子計算機（シャープ PC-3200S型）を配置し、電算による給与計算業務を開始する。
10. 28 本署に救急自動車（ニッサン 2B型）を配置する。
- 昭和58. 8. 23 第6回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が須賀川市西川運動広場で実施される。
11. 2 社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ニッサン GM市原式 BD-I型）の寄贈を受け石川分署に配置する。
11. 22 平田出張所消防無線遠隔制御基地局設置工事竣工する。
- 昭和59. 3. 27 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け長沼分署に配置する。
3. 28 本署車庫棟増築（建築主体、機械設備、電気設備）工事竣工する。
4. 1 公立岩瀬病院組合から伝染病隔離病舎及び設備、備品を負担附で受け入れ、隔離病舎の運営を開始する。
- 名 称 須賀川地方広域隔離病舎
- 位 置 須賀川市北町20番地
5. 29 石川町国土調査に伴う住居表示の変更により、石川分署の位置「石川町字松木下152」が「石川町字松木下150」に変更される。
10. 22 地方公務員法の一部を改正する法律（昭和56年法律第92号）により定年制度が条例化される。（昭和60年3月31日から施行）
10. 28 4週1回・交替半休制実施
11. 2 須賀川中央ライオンズクラブから広報連絡車（トヨタ カリーナバン）の寄贈を受け本署に配置する。
11. 30 須賀川市における県中都市計画事業、西川土地区画整理事業に係る換地処分の公告に伴い、本組合の事務所の位置「須賀川市大字西川字丸田90番地」が「須賀川市丸田町153番地」に変更される。
- 昭和60. 3. 25 石川分署の第2車庫建築工事竣工する。
- 敷地面積 1,386.87m<sup>2</sup>
4. 1 職員2人を採用し実員145人となる。
8. 7 須賀川市内に連続放火事件（5件）発生し、7世帯13人り災する。

焼損棟数 6棟 (全焼3棟、半焼1棟、部分焼2棟)  
焼損面積 332m<sup>2</sup>  
損害額合計 35,095千円

12. 6 本署配置の救急自動車 (ニッサン 3B型) を石川方部の予備車兼人員輸送車として石川分署に配置換えする。

昭和61. 8. 5 昭和61年8月4日・5日の台風10号及びこれから変わった低気圧による大雨により、河川の氾濫、土砂崩れ等管内各所に甚大な被害が発生する。8月7日、須賀川市に災害救助法が適用される。

救助者44人、家屋の損壊21棟、床上浸水605棟、床下浸水586棟

8. 22 全国消防救助技術大会 (神戸) で、ロープ登はん (個人) の部において消防士須田勝茂が優勝する。

8. 25 本署に資器材搬送車 (スズキ キャリィ軽トラック) 及び連絡車 (スバル レックスコノビ) を配置する。

9. 29 本署に可搬式送水装置 (林野火災用トーハツTH400M型) を配置する。

11. 22 石川町に連續放火事件 (6件) が発生し、7世帯30人がり災、1人が焼死する。

焼損棟数 10棟 (全焼2棟、部分焼8棟)

焼損面積 682m<sup>2</sup>

損害額合計 93,046千円

昭和62. 1. 1 消防本部・消防署の組織機構の改革を実施し、通信指令室を消防署から消防本部警防課所管とし、体制を一部改称する。

〃 須賀川消防署石川分署を石川消防署に昇格、職員を1人増員し18人となる。さらに、平田、浅川両出張所及び古殿分遣所を従来の須賀川消防署から石川消防署に管轄変更するとともに、古殿分遣所を古殿出張所に昇格させる。

1. 30 浅川出張所に消防ポンプ自動車CD-I型 (三菱 キャンター) 1台を配置する。

4. 2 職員1人を採用し実員145人となる。

4. 30 天栄村大字牧之内字権太倉地内の林野火災で国有林7haを焼損する。

5. 5 異常小雨による渇水のため水道断水し、水そう車給水出動する。 (須賀川市断水世帯1,929戸)

5. 10 4週6休制試行開始

5. 26 須賀川消防署第2車庫に展示室竣工する。

7. 14 集中豪雨により管内各所 (須賀川市、天栄村、平田村) に水害が発生する。

床上浸水 18棟

床下浸水 151棟

8. 21 第8回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が石川町レークサイドグラウンドで実施される。

10. 30 石川消防署に救助器具搬送車（いすゞ エルフルートバン）を配置し、救助業務を開始する。

11. 5 職員にB型肝炎予防ワクチン接種を開始する。（145人中104人接種）

昭和63. 4. 1 古殿出張所に職員を1人増員し10人となる。

7. 1 消防本部組織の一部を改正し、警防課施設係を施設管理係に名称変更し、総務課所管となる。

平成元. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事が始まる。（初年度2人須賀川市へ割愛）

4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員3人を採用し実員145人となる。

〃 石川消防署に職員を1人増員し19人、古殿出張所に職員を1人増員し11人とし、平田出張所を2人減員し11人となる。

〃 須賀川消防署から鏡石出張所に救急自動車（トヨタ 1985年式2B型）を配置換えし、救急業務を開始する。

4. 2 4週6休制実施

7. 12 浅川出張所に救急自動車（トヨタ 2B型）を配置し、救急業務を開始する。

平成2. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事6人実施。（須賀川市2人、岩瀬村1人、石川町1人、平田村1人、古殿町1人）

4. 1 職員7人を採用し実員144人となる。

5. 11 第43回福島県下消防大会が須賀川市文化センターで開催される。

平成3. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事4人実施。（長沼町1人、鏡石町1人、天栄村1人、浅川町1人）

4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員9人を採用し実員146人となる。

〃 消防本部を1人減員し22人となる。

〃 職員定数条例を改正し定員169人となる。

8. 30 平成3年度福島県総合防災訓練が須賀川市文化センター周辺で開催される。

9. 13 第10回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が須賀川市西川スポーツ広場で開催される。

10. 1 須賀川消防署に職員を2人増員し37人、湯本分遣所に職員を1人増員し6人、石川消防署に職員を1人増員し20人となる。

平成4. 3. 25 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け石川消防署に配置する。

3. 31 職員年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事1人実施。（玉川村）

4. 1 職員8人を採用し実員150人となる。

〃 須賀川消防署を2人減員し35人、長沼分署を1人減員し16人、石川消防署を1人減員し19人となる。

8. 26 財団法人日本消防協会から指揮広報車（ニッサン ブルーバード）の寄贈を受け消防本部に配置する。
9. 4 財団法人日本防火協会から防火広報車（いすゞ ファーゴ）の寄贈を受け消防本部に配置する。
10. 1 須賀川消防署に職員を4人増員し39人、長沼分署に職員を2人増員し18人、石川消防署に職員を2人増員し21人となる。

平成5. 3. 12 玉川派出所庁舎新築工事竣工する。

位 置 玉川村大字北須釜字森殿25-3

敷地面積 2,720.74m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建

延べ面積 277.91m<sup>2</sup>

3. 16 消防緊急通信指令施設業務開始

3. 20 福島空港開港

4. 1 玉川派出所に消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 森田式）及び救急自動車（トヨタ 2B型）を配置し、須賀川消防署から日中のみ職員4人を派出し業務を開始する。  
〃 職員12人を採用し実員162人となる。

5. 20 組合設立20周年式典が実施される。

10. 1 須賀川消防署に職員を3人増員し41人、湯本分遣所に職員を1人増員し7人、平田・浅川・鏡石・古殿各出張所に職員を各1人増員しそれぞれ12人となる。

11. 18 自治体消防45周年記念大会が東京都で開催される。

平成6. 1. 1 週休2日制を施行する。

3. 9 鏡石出張所事務室改修工事竣工する。

4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員7人を採用し実員166人となる。

- 〃 消防本部組織の一部を改正し、警防課通信指令室を通信指令課に昇格し3課体制とする。

- 〃 郡界変更により東白川郡古殿町が石川郡に編入される。

6. 30 緊急通信指令施設の設置に伴う消防無線中継所の設置により、平田出張所消防無線遠隔制御基地局を撤去する。

9. 9 須賀川信用金庫から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。

10. 1 須賀川消防署に職員を4人増員し45人、長沼分署に職員を1人増員し19人、石川消防署に職員を2人増員し22人となる。

10. 20 石川消防署に水槽付消防ポンプ自動車II型（いすゞ フォワード 水槽2.0t）1台を配置する。

平成7. 4. 1 職員定数条例を改正し定員225人となる。

4. 1 職員8人を採用し実員172人となる。
- 〃 須賀川消防署を1人減員し44人、長沼分署を2人減員し17人とし、湯本分遣所に職員を1人増員し8人となる。
10. 1 須賀川消防署に職員を1人増員し45人、長沼分署に職員を1人増員し18人、石川消防署に職員を1人増員し23人、各出張所に職員を1人増員し13人となる。
10. 6 須賀川消防署にはしご付消防自動車（日野 森田式 30m）1台を配置する。
10. 12 須賀川消防署に消防ポンプ自動車CD-II型（三菱 ファイター）1台を配置する。
10. 30 国内における地震等の大規模災害（災害が発生した市町村の属する都道府県内の消防力をもってしては、これに対処できない災害）の発生に際し、消防庁長官の要請に基づく被災地の消防応援のため福島県緊急消防援助隊が発足され、本組合は、消火部隊1隊、特殊部隊（10t水そう車）1隊が編成される。
11. 8 第11回福島県防火大会（参加者約1,000人）が須賀川市文化センターで開催される。
11. 29 須賀川消防署に放射線防護服3着を配置する。
- 平成8. 4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員11人を採用し実員182人となる。
7. 19 須賀川消防署に搬送車（ホンダ アクティ）1台を配置する。
9. 30 救急業務高度化推進委員会を設置する。
10. 1 通信指令課に職員を1人増員し10人、須賀川消防署に職員を3人増員し48人、石川消防署に職員を2人増員し25人、長沼分署に職員を1人増員し19人、各出張所に職員を1人増員し各14人となる。
12. 26 須賀川消防署に高規格救急自動車（いすゞ スーパーメディック）1台を配置する。
- 〃 須賀川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱 ファイター 水槽1.5t）1台を配置する。
- 平成9. 3. 1 須賀川消防署に救急救命士5人を配置し、高規格救急自動車（いすゞ スーパーメディック）の運用を開始する。
3. 24 福島綜合警備保障株式会社から広報連絡車（トヨタ カルディナバン）の寄贈を受け消防本部に配置する。
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員5人を採用し実員185人となる。
- 〃 須賀川消防署を2人減員し46人、石川消防署を1人減員し24人となる。
7. 25 須賀川消防署に膨張式テント（東洋ゴム株製エアーテント TAT400）一式を配置する。
9. 7 鏡石出張所に救急自動車（トヨタ 2B型）1台を配置する。
10. 1 須賀川消防署に職員を1人増員し47人、石川消防署に職員を1人増員し25人、鏡石出張所に職員を1人増員し15人となる。
- 平成10. 3. 7 自治体消防制度50周年記念式典が東京都で開催される。
3. 15 福島県・自治体消防50周年記念式典が須賀川市文化センターで開催される。

3. 26 長沼分署新庁舎竣工する。

位 置 長沼町大字梓衝字上南47

敷地面積 2,911.81m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建

延べ面積 846m<sup>2</sup>

〃 長沼分署新庁舎に移転し業務を開始する。

4. 1 職員6人を採用し実員189人となる。

〃 鏡石出張所を1人減員し14人となる。

〃 福島県消防協会石川支部事務局が石川地方町村会事務局から本組合へ移管となる。

〃 自動車電話・携帯電話等からの119番通報受付業務を開始する。

8. 27 集中豪雨により管内各所の住家等に甚大な被害が発生する。

全 壊 1棟 (1世帯4人)

半 壊 2棟 (2世帯7人)

一部損壊 22棟 (21世帯85人)

床上浸水 193棟 (190世帯728人)

床下浸水 145棟 (145世帯574人)

救 助 者 101人

〃 消防相互応援協定に基づき、白河市の集中豪雨による水害等救助に救助工作車(4人)応援出動する。

10. 1 消防本部警防課に職員を1人増員し7人、須賀川消防署に職員を2人増員し49人、石川消防署に職員を2人増員し27人、湯本分遣所に職員を1人増員し9人となる。

〃 田村地方町村衛生処理組合(6町1村)の伝染病隔離病舎に関する事務を受託する。

11. 9 須賀川消防署に資器材搬送車(三菱FUSO キャンター4WD 3t車)を配置する。

12. 1 須賀川消防署にアルミボート1艘(シーニンフ14R)及び船外機2台(マーキュリー製9.9PS1台、25PS1台)を配置する。

12. 10 須賀川消防署に小型動力ポンプ付水そう車(三菱 スーパーグレート 水槽10t)1台を更新配置する。

平成11. 3. 31 伝染病予防法に基づき設置された須賀川地方広域隔離病舎が、感染症の予防及び伝染病の患者に対する医療に関する法律の施行に伴い、市町村の設置義務から都道府県知事の指定行為に変更され廃止となる。

4. 1 職員4人を採用し実員192人となる。

〃 消防本部警防課に救急救助係を新設するとともに職員を1人増員し8人となる。

〃 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車(トヨタ 2B型)の寄贈を受け浅川出張所に配置する。

6. 4 第52回福島県下消防大会が須賀川市文化センターで開催される。

8. 6 浅川出張所に広報連絡車（トヨタ スプリンター）1台を配置する。
  10. 1 須賀川消防署に職員を2人増員し49人、石川消防署に職員を2人増員し27人となる。  
〃 須賀川地方広域隔離病舎を公立岩瀬病院組合に譲与する。
  10. 18 長沼分署及び平田出張所に消防ポンプ自動車C D－I型（三菱 キャンター）1台をそれぞれ更新配置する。
  12. 31 翌平成12年1月1日にかけて、須賀川地方広域消防組合コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画に基づき警戒体制を敷く。
- 平成12. 3. 30 アスター工業株式会社から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け、古殿出張所に配置する。
4. 1 須賀川地方広域消防組合コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画に基づく警戒体制を解除する。  
〃 職員5人を採用し実員194人となる。
  7. 31 放射線測定器（理研計器株）レムガードR D－2E－P L一式及びアロカ（株）ポケットP D M－112）一式を須賀川消防署に配置する。
  8. 9 須賀川消防署に救急自動車（トヨタ 2B型）1台を、鏡石出張所に広報連絡車（ニッサン ウィングロードADバン）1台をそれぞれ配置する。
  9. 21 須賀川消防署に膨張式テント（東洋ゴム（株）製エアーテントT A T 600）一式を配置する。
  10. 1 消防本部通信指令課に職員を1人増員し11人、須賀川消防署に職員を3人増員し52人、石川消防署に職員を1人増員し27人となる。
  12. 11 石川消防署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）1台を配置する。
  12. 18 石川消防署配置の救急救命士4人をもって高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）の運用を開始する。  
〃 F I T（福島県・茨城県・栃木県）消防防災航空隊合同訓練を母畠ダム周辺において、大規模林野火災を想定し実施する。
- 平成13. 1. 1 鏡石町国土調査に伴う住居表示の変更により、鏡石出張所の位置「鏡石町大字笠石字旭町160」が「鏡石町旭町160」に変更される。
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員3人を採用し実員196人となる。
  7. 6 須賀川市大字大栗地内（テクニカルリサーチガーデン敷地内）を会場にジャパンエキスポ2001「うつくしま未来博」が秋篠宮殿下、妃殿下紀子さまをお迎えし開会となり、福島県（うつくしま未来博協会）との警備協定により現地消防警備を開始する。（職員3人、消防ポンプ自動車及び救急自動車各1台を常駐配置）
  8. 1 古殿出張所に広報車（ホンダ パートナー）1台を更新配置する。
  9. 1 潜水士免許有資格者8人、潜水資器材8基をもって「潜水隊」を発足する。
  9. 27 玉川派出所及び長沼分署に救急自動車（トヨタ 2B型）1台をそれぞれ更新配置する。
  9. 30 ジャパンエキスポ2001「うつくしま未来博」が閉会し、現地消防警備を終了する。

10. 26 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメリック）1台を更新配置する。
11. 1 定年退職した職員を最長65歳まで再任用する、新たな再任用制度を導入する。  
〃 消防本部消防緊急通信指令システム地図検索装置を富士通ゼネラルとの賃貸借契約により更新整備し、正式運用を開始する。
- 平成14. 4. 1 職員4人を採用し実員196人となる。  
〃 本組合消防組織機構の改革により、消防本部に予防課を新設し、通信指令課を警防課に統合、また、消防署の下に設置の出張所を分署に名称更新し、時代の変化とニーズに対応する組織体制の再編を図る。
8. 1 須賀川消防署に広報車（ホンダ パートナー）1台を、湯本分遣所に広報車（三菱 エアトレック）1台をそれぞれ更新配置する。
8. 30 平成14年度福島県総合防災訓練が須賀川市立第二小学校及び須賀川市民スポーツ広場周辺を会場に開催される。
- 平成15. 3. 25 鏡石町中心住宅地で19件の連続放火が発生し、「放火対策本部」を設置するとともに鏡石分署を増強し緊急事態に備える。（4月17日被疑者逮捕により解決する。）
4. 1 職員3人を採用し実員197人となる。  
〃 消防庁の定める服制基準の改正並びに本組合の行財政改革の一環として、組合設立30周年を機に、被服等給貸与規則及び消防職員服装規程を改正し、服制の大幅な見直しを図る。
8. 8 須賀川消防署に人員輸送車（三菱 ローザ 29人乗り）1台を更新配置する。
10. 1 組合設立30周年記念誌を発行する。
11. 7 須賀川地方危険物安全協会から広報連絡車（トヨタ サクシード）の寄贈を受け、消防本部に配置する。
11. 20 自治体消防55周年記念大会が東京都で開催される。
12. 1 消防行政情報の増大化・多様化に対応するため、消防本部及び各署所間のネットワークを構築し、事務の電子化・効率化を図る。
12. 12 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野 レンジャー 水槽1.5t 薬液槽0.5t 国庫補助事業）1台を須賀川消防署に更新配置する。
- 平成16. 1. 1 住民へ幅広く情報提供するため、職員手作りによる組合公式ホームページを開設する。
4. 1 職員4人を採用し実員196人となる。  
〃 長沼分署の救急自動車（トヨタ 2B型）に高規格救急資器材を搭載し、同分署に救急救命士4人を配置する。
9. 7 消防本部に司令車（トヨタ プリウス）1台を更新配置する。
10. 8 石川消防署に広報連絡車（トヨタ エスティマハイブリッド）1台を更新配置する。
10. 23 10月23日17時56分発生した新潟県中越地震に、須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。

11. 19 須賀川信用金庫から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。

平成17. 2. 15 消防本部に指揮広報連絡車（トヨタ エスティマハイブリッド）1台を更新配置する。

3. 22 須賀川消防署に救助工作車II型（日野 森田式 フロントワインチ5t、リヤワインチ10t、クレーン装置2.9t、その他各種救助資器材積載 国庫補助事業）を配置する。

4. 1 職員3人を採用し実員196人となる。

〃 市町村合併により長沼町及び岩瀬村が須賀川市へ編入合併し、組合構成市町村が1市4町3村となる。

〃 市町村合併に伴う組合規約改正により、組合議会議員定数が24人から22人（須賀川市7人、鏡石町2人、天栄村2人、石川町3人、玉川村2人、平田村2人、浅川町2人、古殿町2人）に改められる。

8. 1 鏡石分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。

10. 1 鏡石分署に救急救命士4人を配置し、高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）の運用を開始する。

11. 21 浅川分署に消防ポンプ自動車CD-I型（トヨタ ダイナ 国庫補助事業）1台を更新配置する。

12. 16 鏡石分署に水槽付消防ポンプ自動車I-B型（日野 レンジャー 水槽1.5t 国庫補助事業）1台を更新配置する。

平成18. 3. 22 鏡石分署車庫改造工事竣工する。

4. 1 職員3人を採用し実員196人となる。

〃 予防技術資格者制度が創設され、本組合において12人を認定する。

10. 3 FITNG（福島県・茨城県・栃木県・新潟県・群馬県）消防防災航空隊合同訓練を羽鳥湖周辺において実施する。

12. 13 石川消防署に救助用資器材搭載CD-I型消防ポンプ自動車（トヨタ ダイナ）1台を更新配置する。

平成19. 4. 1 職員5人を採用し実員194人となる。

〃 高機能消防指令センター（II型）を更新導入し運用を開始する。

5. 8 古殿町において食品工場火災が発生する。

    焼損棟数 1棟（全焼）

    焼損面積 3,759m<sup>2</sup>

    傷    者 1人

    損    害    額 524,874千円

7. 19 須賀川消防署に業務連絡車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。

10. 1 地球温暖化対策の推進に関する温室効果ガスの排出削減計画書を策定する。

10. 26 須賀川消防署に指揮車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。  
〃 古殿分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
11. 30 石川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。
- 平成20. 3. 7 自治体消防制度60周年記念式典が東京都で開催される。  
4. 1 職員7人を採用し実員195人となる。  
5. 23 第61回福島県消防大会が須賀川市文化センターで開催される。  
6. 14 6月14日8時43分発生した岩手宮城内陸地震に須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。  
7. 24 7月24日0時26分ごろ発生した岩手県沿岸北部を震源とする地震に須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。  
11. 20 湯本分遣所に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。  
12. 4 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 平成21. 4. 1 職員8人を採用し実員192人となる。  
〃 古殿分署に救急救命士4人を配置する。  
7. 1 携帯電話とIP電話等からの緊急通報時における「発信位置情報通知システム」を導入し、運用を開始する。  
10. 26 古殿分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。  
10. 27 長沼分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）1台を更新配置する。
- 平成22. 4. 1 職員8人を採用し実員197人となる。  
〃 平田分署に救急救命士4人を配置する。  
9. 29 9月29日16時59分に発生した天栄村湯本地区を震源とするマグニチュード5.8、震度5弱の地震により、住家及び国道等に甚大な被害が発生し、湯本分遣所庁舎にも壁体の大規模な亀裂等甚大な被害が発生する。  
半 壊 2棟  
一部損壊 99棟
10. 14 アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台の寄贈を受け平田分署に更新配置する。  
〃 玉川派出所に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 平成23. 2. 23 平成22年9月29日の地震により被災した湯本分遣所庁舎補修工事竣工する。  
3. 11 3月11日14時46分に発生した太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0、震度7（管内最大震度6強）の東北地方太平洋沖地震により、管内各所で未曾有の被害が発生する。また、この地震により須賀川市藤沼貯水池の堤防が決壊し大規模な水害が発生する。（東日本大震災）

※管内の被害状況（令和4年4月1日現在）

全 壊 1,495棟

半 壊 4,531棟

一部損壊 18,881棟

床上浸水 32棟

床下浸水 30棟

死 者 15人

負傷者 16人

3. 25 東日本大震災により被災した消防本部庁舎鉄塔解体撤去工事竣工する。
  4. 1 東日本大震災災害対応等のため職員6人を勤務延長、職員6人を採用し実員199人となる。
  5. 1 職員6人の勤務延長が終了し実員193人となる。  
〃 浅川分署に救急救命士4人を配置する。
  7. 1 全国消防長会から消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 キャンター）1台の無償譲渡を受け、石川消防署に配置する。（東日本大震災による寄贈）
  8. 8 消防本部に広報連絡車（ニッサン ウィングロード）1台を更新配置する。
  9. 7 東日本大震災により被災した浅川分署塔屋解体及びペントハウス屋根架け工事竣工する。
  9. 14 東日本大震災により被災した消防本部塔屋解体及び塔屋1階改修工事竣工する。
  9. 21 台風15号により管内各所に水害が発生する。  
一部損壊 4棟  
床上浸水 363棟  
床下浸水 206棟
  9. 30 平田分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。
  12. 1 浅川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を、湯本分遣所に救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台をそれぞれ更新配置する。
- 平成24. 3. 28 全国共済農業協同組合連合会福島県本部から高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台の寄贈を受け須賀川消防署に更新配置する。
3. 30 須賀川消防署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
  4. 1 職員16人を採用し実員196人となる。  
〃 組合規約改正により、組合管内町村長7人全員が副管理者へ、組合議会議員定数が22人から14人（須賀川市6人、鏡石町1人、天栄村1人、石川町2人、玉川村1人、平田村1人、浅川町1人、古殿町1人）へ改められる。
  9. 12 石川消防署に広報連絡車（ニッサン バネットバン）1台を更新配置する。
  12. 25 消防本部庁舎耐震改修工事竣工する。
- 平成25. 4. 1 職員15人を採用し実員201人となる。

4. 1 消防本部予防課の係を予防係及び危険物係から予防保安係及び査察指導係へ改編し、予防消防体制の強化を図る。  
〃 消防救急無線をこれまでのアナログ方式からデジタル方式へ移行し、運用を開始する。
  5. 17 長沼分署太陽光発電設備工事竣工する。（県補助事業）
  11. 25 消防団120年・自治体消防65周年記念大会が東京都で開催される。
  11. 28 石川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 県補助事業）1台を更新配置する。
  12. 1 組合設立40周年記念誌を発行する。
- 平成26.
1. 31 玉川派出所太陽光発電設備工事竣工する。（県補助事業）
  3. 20 石川消防署に水槽付消防ポンプ自動車II型（日野 レンジャー 水槽2.0t 国庫補助事業）1台を更新配置する。
  4. 1 職員14人を採用し実員208人となる。  
〃 玉川派出所に職員8人を配置し、須賀川消防署から補勤を受け24時間常駐体制に移行する。
  8. 31 平成26年度福島県総合防災訓練が須賀川市立第二中学校及び須賀川市民スポーツ広場周辺を会場に開催される。（合計66機関・団体 約1,000人）
  10. 4 須賀川信用金庫創立100周年記念により高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。
  10. 27 古殿分署に広報連絡車（ニッサン ADエキスパート）1台を更新配置する。
- 平成27.
2. 18 長沼分署に水槽付消防ポンプ自動車I-A型（日野 レンジャー 水槽1.5t 国庫補助事業）1台を更新配置する。
  2. 27 消防本部庁舎太陽光発電設備・受変電設備工事竣工する。（県補助事業）
  4. 1 職員9人を採用し、3人の再任用者を含め実員210人となる。  
〃 玉川派出所に再任用者1人を含む職員を5人増員し、13人体制となる。
  8. 29 全国消防救助技術大会（神戸）で、ロープ応用登はん種目において消防士根本晃宏、消防士二瓶匡史チームが出場50チーム中最高のタイムで入賞する。
  11. 10 浅川分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。
- 平成28.
2. 1 湯本分遣所新庁舎に移転し業務を開始する。
  2. 26 玉川派出所に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
  3. 14 玉川派出所車庫増築工事竣工する。
  4. 1 職員9人を採用し、5人の再任用者を含め実員213人となる。  
〃 玉川派出所を従来の須賀川消防署から石川消防署に管轄変更するとともに、玉川分署に昇格させる。  
〃 女性活躍推進法に基づく須賀川地方広域消防組合特定事業主行動計画を策定する。  
〃 地方公務員法に基づく人事評価制度の運用を開始する。

4. 1 本組合の中長期にわたる計画的な運営のため、須賀川地方広域消防組合運営計画を策定する。

4. 20 湯本分遣所新庁舎竣工する。

位 置 天栄村大字田良尾字五倫林山4

敷地面積 899.16m<sup>2</sup>

構 造 鉄骨造2階建

延べ面積 287.14m<sup>2</sup>

10. 27 鏡石分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。

11. 22 玉川分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を配置する。

平成29. 2. 28 平田分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ 国庫補助事業）1台を更新配置する。

4. 1 職員4人を採用し、4人の再任用者を含め実員213人となる。

5. 2 消防相互応援協定に基づき、双葉郡浪江町地内十万山山頂付近で発生した大規模林野火災による消火活動に応援出動する。（5月10日鎮火に至るまで計8日間、延べ74人）

9. 7 長沼分署及び古殿分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台をそれぞれ更新配置する。

10. 31 須賀川消防署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。

平成30. 3. 7 自治体消防制度70周年記念式典が東京都で開催される。

4. 1 職員5人を採用し、2人の再任用者を含め実員210人となる。

6. 28 古殿分署新庁舎竣工する。

位 置 古殿町大字松川字横川66-3

敷地面積 2,618.0m<sup>2</sup>

構 造 鉄骨造平屋建

延べ面積 370.52m<sup>2</sup>

7. 20 古殿分署新庁舎に移転し業務を開始する。

平成31. 1. 21 住宅用火災警報器の設置率向上のため、取り付け支援サービスを開始する。

4. 1 職員7人を採用し、4人の再任用者を含め実員207人となる。

〃 訪日外国人からの通報へ対応するため、電話通訳センターを介した多言語通訳サービスを導入する。

令和元. 5. 29 石川消防署新庁舎竣工する。

位 置 石川町字当町297-1

敷地面積 2,752.83m<sup>2</sup>

構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建

延べ面積 997.53m<sup>2</sup>

6. 27 石川消防署新庁舎に移転し業務を開始する。
9. 18 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
10. 12 台風19号が12日から13日にかけて東日本を縦断、管内各所では河川堤防の決壊、内・外水氾濫が発生し甚大な被害を受ける。須賀川市では死者2人が発生する。また、須賀川消防署は床上約70cmの浸水被害を受け、公用車5台、職員の車両40台も水没する。
- 床上浸水 1,359棟
- 床下浸水 392棟
10. 13 台風被害により2日間で計88件の出動要請があり、当組合の人員・資機材のみでは対応困難と判断、消防相互応援協定により南会津消防本部ボート隊7人の応援を受ける。
- (延べ出動車両144台、出動人員510人、救助者数199人)
12. 26 消防本部に広報連絡車（マツダ スクラムバン）1台を更新配置する。
- 令和2. 2. 12 須賀川消防署に広報連絡車（ニッサン キャラバン）1台を更新配置する。
3. 12 消防本部に広報連絡車（ニッサン ADバン）1台を更新配置する。
3. 17 県内初の制度である予防技術資格者として認定された職員に資格者章を貸与する予防技術資格者章貸与式が行われる。（貸与者12名）
4. 1 職員7人を採用し、1人の再任用者を含め実員207人となる。
- 〃 高機能消防指令センター（II型 国庫補助事業）を全面更新し、運用開始する。
7. 15 須賀川消防署に軽トラック（日産 NT100クリッパー）1台を更新配置する。
8. 24 消防本部に非常用電源設備（ニチハツ キュービクル式 200V 50kVA (40kW)）を更新整備する。
11. 10 石川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 〃 玉川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 令和3. 2. 13 2月13日23時07分に発生した福島県沖（牡鹿半島の南南東70km付近）を震源とするマグニチュード7.3、震度6強（管内最大震度6弱）の福島県沖地震により、管内各所で被害が発生する。
- ※管内の被害状況（令和4年3月8日現在）
- 全 壊 5棟
- 半 壊 215棟
- 一部損壊 2,986棟
- 負傷者 12人
3. 15 須賀川消防署に化学消防ポンプ自動車II型（日野 レンジャー 水槽1.5t 薬液槽0.5t）1台を更新配置する。
4. 1 職員7人を採用し、3人の再任用者を含め実員208人となる。
- 〃 須賀川地方広域消防組合第2次運営計画を策定する。

5. 21 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく須賀川地方広域消防組合特定事業主行動計画を策定する。

10. 1 須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画を策定する。

11. 15 浅川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。

令和4. 2. 21 鏡石分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ 国庫補助事業）1台を更新配置する。

3. 16 3月16日23時36分に発生した福島県沖を震源とするマグニチュード7.4、震度6強（管内最大震度6弱）の福島県沖地震により、管内各所で被害が発生する。

※管内の被害状況（令和4年5月6日現在）

半 壊 9棟

一部損壊 871棟

負傷者 2人

4. 1 職員4人を採用し、1人の再任用者を含め実員206人となる。

6. 1 須賀川消防署に資機材搬送車（いすゞ エルフ）1台を更新配置する。

6. 4 第75回福島県消防大会が須賀川市文化センターで開催される。

8. 26 須賀川消防署に災害対応特殊はしご付自動車（日野 プロフィア 国庫補助事業）1台を更新配置する。

9. 30 平田分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。

12. 9 長沼分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。

〃 鏡石分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。

令和5. 3. 10 応募総数1,025件の中から、組合イメージキャラクターの名前が「マモタン」に決定する。

4. 1 職員3人を採用し、2人の再任用者を含め実員204人となる。

10. 31 須賀川消防署長沼分署湯本分遣所に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。

12. 25 須賀川消防署感染症対策改修工事（仮眠室個室化等）竣工する。（緊急防災・減災事業）

令和6. 2. 20 須賀川消防署に災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車（日野 プロフィア 国庫補助事業）1台を更新配置する。

3. 1 組合設立50周年記念誌を発行する。

3. 14 石川消防署浅川分署大規模改修工事（仮眠室個室化等感染症対策含む（緊急防災・減災事業））竣工する。

4. 1 職員4人を採用し、2人の再任用者を含め実員205人となる。

9. 27 須賀川信用金庫創立110周年記念により、災害対応特殊救急自動車（高規格救急自動車トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台の寄贈を受け、須賀川消防署に配置する。

- 令和7. 2. 20 長沼分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
2. 26 浅川分署に消防ポンプ自動車C D－I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
- 〃 2月26日岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災に消防庁長官からの出動の求めに応じ、須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊2隊（消火隊4人、後方支援隊3人）を6次隊までの延べ42人を派遣する。（派遣期間2月26日～3月16日までの18日間）
4. 1 職員8人を採用し、2人の再任用者を含め実員210人となる。
- 〃 本組合消防組織の改編を行い、消防本部警防課から通信指令係を独立させ通信指令課を新設し、新たに消防業務のDX化等を担うこととした。



総務

# 組合基本理念

安心して暮らせる  
地域の未来をつくる



令和6年度  
消防職員意見発表会

令和6年度  
ハラスメント防止研修



## 1 須賀川地方広域消防組合の位置



## 2 構成市町村の面積・人口・世帯数

区分 市町村別	面積(km <sup>2</sup> )	世帯数(世帯)	人 口		
			計(人)	男(人)	女(人)
須賀川市	279.43	30,756	72,593	35,806	36,787
鏡石町	31.30	4,563	12,375	6,111	6,264
天栄村	225.52	2,018	5,134	2,594	2,540
石川町	115.71	5,729	13,486	6,712	6,774
玉川村	46.67	2,187	5,965	2,982	2,983
平田村	93.42	2,183	5,318	2,712	2,606
浅川町	37.43	2,190	5,729	2,882	2,847
古殿町	163.29	1,752	4,474	2,220	2,254
計	992.77	51,378	125,074	62,019	63,055

(現住人口)

### 3 執行機関及び議会議員等

#### 執行機関

職名	氏名	現職
管理者	大寺正晃	須賀川市長
代表副管理者	首藤剛太郎	石川町長
副管理者	木賊正男	鏡石町長
〃	添田勝幸	天栄村長
〃	須釜泰一	玉川村長
〃	澤村和明	平田村長
〃	江田文男	浅川町長
〃	岡部光徳	古殿町長
会計管理者	大槻恵子	須賀川市会計管理者

#### 組合議会議員

職名	氏名	現職
議長	熊谷勝幸	須賀川市議会議員
副議長	近内雅洋	石川町議会議長
議員	佐久間福男	玉川村議会議員
〃	瀬谷京子	石川町議会議員
〃	上遠野廣一	平田村議会議員
〃	深谷勝仁	須賀川市議会議員
〃	鈴木洋二	〃
〃	大柿貞夫	〃
〃	大河内和彦	〃
〃	本田勝善	〃
〃	富永勉	浅川町議会議員
〃	石塚喜吉	天栄村議会議員
〃	野崎喜彦	古殿町議会議員
〃	根本廣嗣	鏡石町議会議員

#### 監査委員

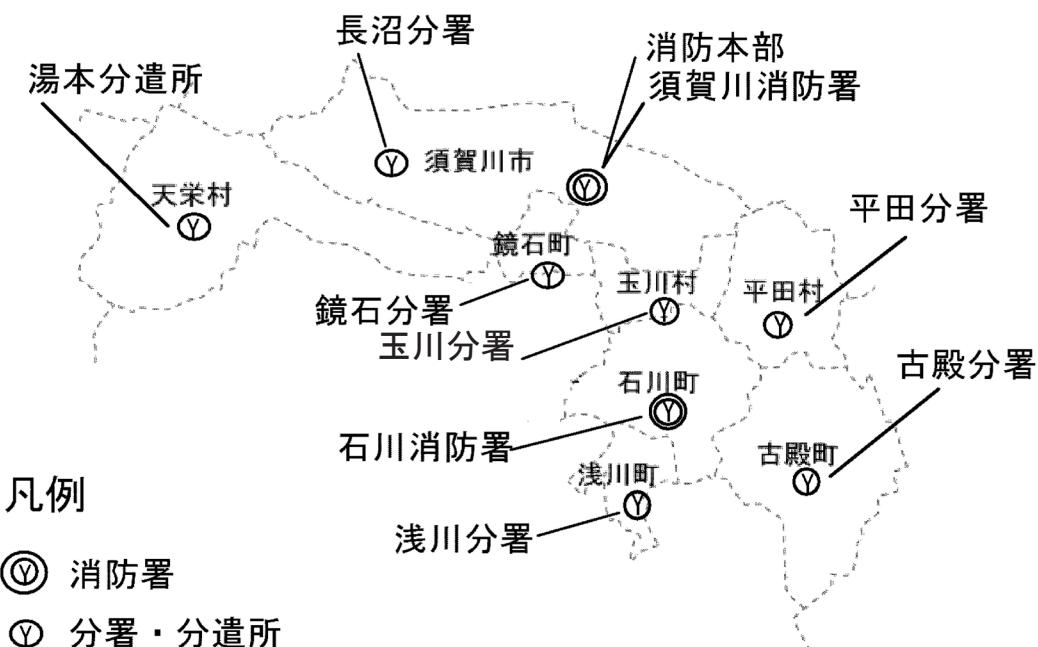
選任区分	氏名	現職
識見を有する者	藤島敬一	
議会選出	根本廣嗣	鏡石町議会議員

## 4 厅舎現況・配置状況

### 庁舎現況

区分		所在地	敷地面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	構造
消防本部 須賀川消防署	庁舎	須賀川市丸田町153	4,936.35	2,198.954	R C造 3階建
	訓練塔			93.525	R C造 5階建
	耐煙訓練棟			199.685	R C造 2階建
	第二車庫			358.999	R C造 2階建
長沼分署	庁舎	須賀川市桿衝字上南47	2,910.0	846.0	R C造 一部 S造 2階建
鏡石分署	庁舎	鏡石町旭町160	1,473.27	313.1	R C造 2階建
長沼分署湯本分遣所	庁舎	天栄村大字田良尾字五倫林山4	899.16	287.14	S造 2階建
石川消防署	庁舎	石川町字当町297-1	2,752.83	997.53	R C造 一部 S造 2階建
	訓練塔			86.37	S造 3階建
	物置			9.55	S造 平屋建
玉川分署	庁舎	玉川村大字北須釜字森殿25-3	2,720.74	363.34	R C造 一部 S造 平屋建
	物置			9.55	S造 平屋建
平田分署	庁舎	平田村大字鶴子字塚田32	2,377.3	318.75	R C造 2階建
浅川分署	庁舎	浅川町大字浅川字背戸谷地157-4	2,337.1	270.04	R C造 2階建
	第二車庫			29.07	S造 平屋建
	物置			9.55	S造 平屋建
古殿分署	庁舎	古殿町大字松川字横川66-3	2,486.3	370.52	S造 平屋建
	物置			9.55	S造 平屋建

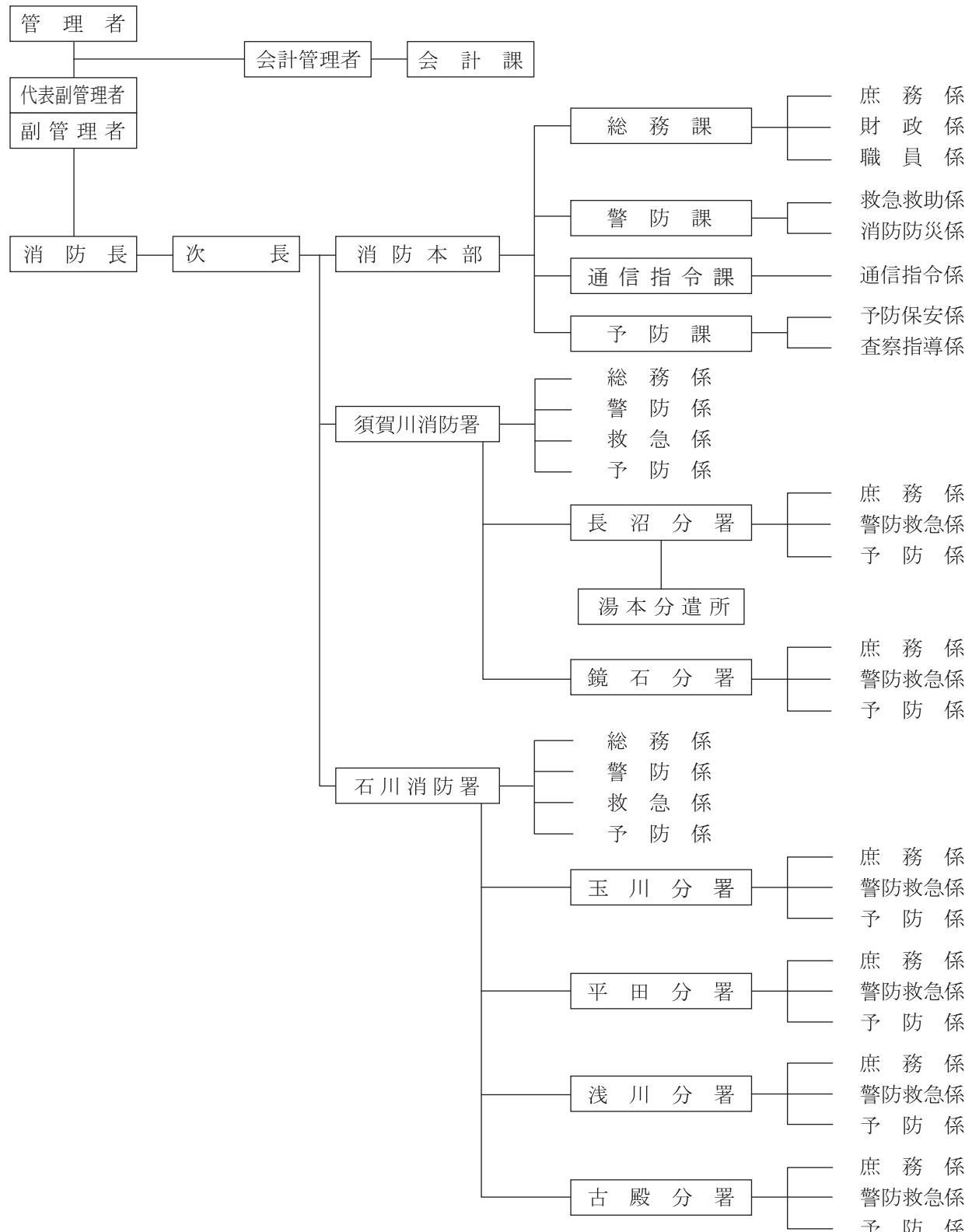
### 配置現況



## 5 組 織

(1) 組合議會 ————— 議長以下 14 名

(2) 執行機關



(3) 監査委員 — 議見を有する者 1名  
議会選出 1名

## 6 職員配置状況

( ) 内は兼務

区分	人員計	階級	消防	防	監	消防監	消防	司	防	令	消防	司	令	消防	士	防	長	消防士	事務員	再任用
			正	監	防	防	司	防	防	令	防	士	防	士	防	長	士	務員	用	
消防本部	消防長	1	1																	
	次長	0																		
	課長					1														
	主幹					1														
	課長補佐						(1)													
	庶務係							1											1	
	財政係								2	1										
	職員係							1		1									(1)	
	福島県派遣等								2											
	警防課					1														
須賀川消防署	課長					1														
	主幹					1														
	課長補佐						1 (1)													
	消防防災係						(1)	1												
	救急救助係						(1)	(1)	(1)	1										
石川消防署	課長					1														
	主幹					2														
	課長補佐						(2)													
	予防保安係							6												
	査察指導係							4												
本署	署長					1														
	副署長					1														
	当直長						2													
	総務係							2	2	2										
	警防係						1	5	3	3										
	救急係						1	4	4	1										
	予防係						1	9	3	6										
	分署長					1														
	副分署長					2														
	庶務係							1	2	1 (1)										
長沼分署	警防救急係						1													
	予防係						3	1	1 (2)											
	湯本分遣所						1	4	4											
	分署長					1														
	副分署長					2														
鏡石分署	庶務係							1	1	1										
	警防救急係							2												
	予防係								1	1										
	分署長					1														
	副分署長					2														
玉川分署	庶務係							1	1	1										
	警防救急係							2												
	予防係								1	2	3									
	専門員							1	3 (3)	(1)	4									
	分署長					1														
平田分署	副分署長					2														
	庶務係							1	1	1										
	警防救急係							3	1	1										
	予防係							2		2										
	分署長					1														
浅川分署	副分署長					2														
	庶務係							1	1	1										
	警防救急係							2	2 (1)	1										
	予防係							2	1 (2)	(2)										
	分署長					1														
古殿分署	副分署長					2														
	庶務係							1	2	2										
	警防救急係							2	2	1 (1)										
	予防係							3	(2)	1 (1)										
	分署長					1														
	計	210 (31)	1	2	10 (1)	38 (6)	79 (6)	46 (9)	33 (8)	1 (1)										

## 7 職員勤続年数・年齢

### 職員勤続年数

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司	消防令	消防司令補	消防士	消防長	消防士	再任用	計
1年未満									8		8
1年以上～5年未満	1								15		16
5年以上～10年未満							15	10			25
10年以上～15年未満					22	29					51
15年以上～20年未満					21	2					23
20年以上～25年未満				1	15						16
25年以上～30年未満				11	13						24
30年以上～35年未満		1	5	22	8						36
35年以上～40年未満		1	5	3							9
40年以上				1 (再任用)						1	2
計	1	2	10	38	79	46	33	1			210
平均勤続年数	2.0	34.0	33.7	31.3	19.8	10.3	2.9	44.0			18.0

### 職員年齢

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司	消防令	消防司令補	消防士	消防長	消防士	再任用	計
20歳未満									5		5
20歳以上～25歳未満									24		24
25歳以上～30歳未満							13	4			17
30歳以上～35歳未満					10	30					40
35歳以上～40歳未満					27	3					30
40歳以上～45歳未満					17						17
45歳以上～50歳未満				13	16						29
50歳以上～55歳未満			5	24	9						38
55歳以上	1	2	5	1 (再任用)						1	10
計	1	2	10	38	79	46	33	1			210
平均年齢	58.8	56.7	54.9	51.1	41.6	31.5	22.7	62.1			39.1

## 8 職員研修状況

(令和6年4月～令和7年3月)

区分		回数	人員	階級別内訳						
				消防正監	消防監	司消令長防	消防司令	司消令補防	消防士長	消防士
福島県消防学校	初任教育	1	4							4
	警防科	1	2							2
	予防查察科	1	2							2
	危険物科	1	2							1 1
	火災調査科	1	2							1 1
	救急科	1	3							3
	救助科	1	2							1 1
	初級幹部科	1	2					2		
	ポンプ操法指導員科	1	4					2		2
	指揮隊長科	1	2				2			
	通信指令科	1	2						1	1
	救急救命士養成補助教育科	1	2							2
大消 学校防	幹部科	1	1				1			
	査察業務マネジメントコース	1	1						1	
ふくしま自治研修センター	応用力アップ研修	1	1							1
	新任係長研修	1	1						1	
	新任管理者研修	1	1				1			
	接遇実践講座	1	2						2	
	地方公会計講座(実践編)	1	1					1		
	レジリエンス講座	1	2						2	
	アート思考講座	1	1							1
	折衝・交渉力養成講座	1	1						1	
	合意形成能力の養成講座	1	1						1	
	危機管理講座	1	1			1				
救急救命士資格取得研修		2	2							2
指導救命士養成研修		1	1					1		
計		27	46			1	4	9	21	11

## 9 職員免許資格等取得状況

階級 種別		消防監	消防監	司消 令長防	消防 司令	司消 令補防	消防 士長	消防 士	計
自動車関係	けん引第1・2種					1			1
	大型特殊第1種		1	2	3	4			10
	大型第1種		2	8	35	74	46	17	182
	大型第2種			1	1	1			3
	中型第1種(8t未満限定含む)	1		2	3	3			9
	中型第2種(8t未満限定含む)				2	2			4
	準中型					1			1
	普通第1種							21	21
	大型自動2輪		2	2	7	5	1		17
	普通自動2輪	1		1	7	10	4	2	25
救急関係	2・3級ガソリン自動車整備士		1						1
	救急隊員資格者		2	6	27	51	33	17	136
	救急救命士			4	11	28	13	6	62
	気管挿管認定救急救命士			3	10	28	9	1	51
	薬剤投与認定救急救命士			4	11	28	11	1	55
	処置拡大(生前輸液等)認定救急救命士			1	11	28	11	1	52
	指導救命士				3	3			6
	救急技術指導者			4	11	21			36
予防関係	応急手当指導員	2	10	38	79	46	25	200	
	危険物取扱者	甲種		1	1	2			4
		乙種	1	3	15	41	9	4	73
		丙種			2				2
	予防技術資格者	防火査察	2	3	11	27	12		55
		消防設備等	2	2	4	18	7		33
		危険物	2	3	7	21	9		42
	消防設備士			1	1	4	3		9
その他	小型船舶免許			2	11	14	1		28
	小型移動式クレーン運転技能		2	5	18	27	8		60
	フォークリフト運転技能		1	2		1			4
	玉掛け技能			5	21	42	6	1	75
	伐木等の業務に係る特別教育				2	2			4
	フルハーネス型墜落制止用器具特別教育				1	4	5	1	11
	第1級陸上特殊無線技士			1		2			3
	第2級陸上特殊無線技士			1	14	18	1	1	35
	第3級陸上特殊無線技士	1	2	8	24	58	45	24	162
	アマチュア無線技士		1		2	1			4
	電気工事士		1	1	1	1	1		5
	ガス溶接技能				7	5	2		14
	2級ボイラー技士		1	1		1	1		4
	衛生管理者免許				1	1			2
	基礎製図検定					4	1		5
	潜水士			3	9	10	5	1	28
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能			2	1	2	1		6
	特定化学物質等作業主任者			3	5	10			18

## 10 令和7年度一般会計予算

### 1 歳 入

(単位：千円)

区分 款	令和7年度（当初）		令和6年度（当初）		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
分担金及び負担金	2,392,503	67.2	2,270,314	63.7	122,189	5.4
使用料及び手数料	1,376	0.1	1,376	0.1	0	0.0
国 庫 支 出 金	50,232	1.4	800	0.0	49,432	激増
県 支 出 金	954	0.0	954	0.0	0	0.0
財 産 収 入	618	0.0	20	0.0	598	激増
寄 附 金	2	0.0	11,899	0.3	△ 11,897	激減
繰 入 金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
繰 越 金	15,000	0.4	15,000	0.4	0	0.0
諸 収 入	3,292	0.1	3,686	0.1	△ 394	△ 10.7
組 合 債	1,097,600	30.8	86,800	2.4	1,010,800	激増
計	3,561,579	100.0	2,390,851	67.0	1,170,728	49.0

### 2 歳 出

(1) 性質別

(単位：千円)

区分 科目	令和7年度（当初）		令和6年度（当初）		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
人 件 費	1,847,581	51.9	1,703,983	73.5	143,598	8.4
物 件 費	208,602	5.9	198,085	8.6	10,517	5.3
維 持 補 修 費	3,328	0.1	2,798	0.2	530	18.9
扶 助 費	34,530	1.0	27,925	1.1	6,605	23.7
補 助 費 等	8,884	0.2	8,982	0.4	△ 98	△ 1.1
普通建設事業費	1,197,175	33.6	142,000	11.2	1,055,175	743.1
公 債 費	143,208	4.0	136,912	4.8	6,296	4.6
積 立 金	113,271	3.2	165,166	0.0	△ 51,895	△ 31.4
予 備 費	5,000	0.1	5,000	0.2	0	0.0
計	3,561,579	100.0	2,390,851	100.0	1,170,728	49.0

(2) 目的別

(単位：千円)

区分 科目	令和7年度（当初）		令和6年度（当初）		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
議 会 費	828	0.0	765	0.0	63	8.2
総 務 費	118,869	7.2	171,274	0.3	△ 52,405	△ 30.6
消 防 費	3,293,674	86.9	2,076,900	94.7	1,216,774	58.6
公 債 費	143,208	5.7	136,912	4.8	6,296	4.6
予 備 費	5,000	0.2	5,000	0.2	0	0.0
計	3,561,579	100.0	2,390,851	100.0	1,170,728	49.0





警  
防

令和6年度配置  
石川消防署浅川分署

消防ポンプ自動車 CD-I型



令和6年度配置  
須賀川消防署

災害対応特殊救急自動車



令和6年度配置  
須賀川消防署長沼分署

高規格救急自動車

# 1 消防本部・消防署等配置図



凡 例

○ 消 防 本 部
○ 消 防 署
○ 分 署・分 遣 所
△ 福島県消防防災ヘリコプター

## 2 消防車両の現勢

区分	種 別	車名	ポンプ 級別	購入 年度	経過 年数	納 入 業 者
消防本部	司 令 車	トヨタ		H16	21	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H16	20	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	ニッサン		R1	5	福島日産自動車(株)
	広 報 連 絡 車	マツダ		R1	5	株式会社福島マツダ
須賀川消防署	C D - I 型 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H23	13	日本機械工業(株)
	小型動力ポンプ付 水 そ う 車 (10t)	日野	B-2	R5	1	(株)モリタ
	は し ご 付 消 防 自 動 車 (35m)	日野		R4	2	(株)モリタ
	化学消防ポンプ自動車	日野	A-2	R2	4	長野ポンプ(株)
	化学消防ポンプ自動車	日野	A-2	H15	21	ジーエムいちはら工業(株)
	救 助 工 作 車	日野		H16	20	(株)モリタ
	救 急 自 動 車	トヨタ		R1	5	福島トヨタ自動車(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		R6	0	須賀川信用金庫寄贈
	救 急 自 動 車	トヨタ		H26	10	須賀川信用金庫寄贈
	人 員 輸 送 車	三菱		H15	21	福島三菱ふそう自動車販売(株)
	指 挥 車	トヨタ		H19	17	ジーエムいちはら工業(株)
	広 報 連 絡 車	ニッサン		R1	5	福島日産自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H29	7	福島トヨタ自動車(株)
	資 機 材 搬 送 車	いすゞ		R4	2	(株)ホシノ郡山支店
	資 機 材 搬 送 車 (軽)	ニッサン		R2	4	福島日産自動車(株)
長沼分署	水 I - A 型 (1.5t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H26	10	日本機械工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	三菱	A-2	H11	25	森田ポンプ(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		R6	0	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		R4	2	福島トヨタ自動車(株)
鏡石分署	C D - I 型 (0.6t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	R3	3	(株)モリタ
	救 急 自 動 車	トヨタ		H28	8	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		R4	2	福島トヨタ自動車(株)

区分	種 別	車名	ポンプ 級別	購入 年度	経過 年数	納 入 業 者
湯本分遣所	C D - I 型 消防ポンプ自動車	トヨタ	A-2	H17	19	ジーエムいちはら工業(株)
	救急自動車	トヨタ		R5	1	福島トヨタ自動車(株)
石川消防署	水 II 型 (2t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H25	11	ジーエムいちはら工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	トヨタ	A-2	H18	18	ジーエムいちはら工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	三菱	A-2	H11	25	森田ポンプ(株)
	救急自動車	トヨタ		R2	4	福島トヨタ自動車(株)
	救急自動車	トヨタ		H29	7	福島トヨタ自動車(株)
	指揮車	ニッサン		H24	12	福島日産自動車(株)
	広報連絡車	トヨタ		H16	20	トヨタカローラ福島(株)
玉川分署	C D - I 型 (0.7t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H27	9	ジーエムいちはら工業(株)
	救急自動車	トヨタ		R2	4	福島トヨタ自動車(株)
	広報連絡車	トヨタ		H28	8	福島トヨタ自動車(株)
平田分署	C D - I 型 (0.7t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H28	8	ジーエムいちはら工業(株)
	救急自動車	トヨタ		R4	2	福島トヨタ自動車(株)
	広報連絡車	トヨタ		H23	13	福島トヨタ自動車(株)
浅川分署	C D - I 型 (0.6t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	R6	0	(株)モリタ
	救急自動車	トヨタ		R3	3	福島トヨタ自動車(株)
	広報連絡車	トヨタ		H27	9	福島トヨタ自動車(株)
古殿分署	C D - I 型 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H19	17	ジーエムいちはら工業(株)
	救急自動車	トヨタ		H29	7	福島トヨタ自動車(株)
	広報連絡車	ニッサン		H26	10	福島日産自動車(株)

消防ポンプ自動車	12台	資機材搬送車	2台
はしご付消防自動車	1台	救急自動車	12台
化学消防ポンプ自動車	2台	小型動力ポンプ付水そう車	1台
救助工作車	1台	司令車・広報連絡車等	16台
計			47台

(t) = タンク積水量

### 3 消防機器材の配置状況

署 所		消 防 本 部	須 賀 川 消 防 署	長 沼 分 署	鏡 石 分 署	湯 本 分 遣 所	石 川 消 防 署	玉 川 分 署	平 田 分 署	浅 川 分 署	古 殿 分 署	計
種 別												
一般 火災用 器 具	ホース 65mm		110	60	30	30	80	30	30	30	30	430
	ホース 50mm		109	60	35	30	80	30	30	30	30	434
	管 鎗 65mm		11	3	3	2	5	2	2	1	3	32
	管 鎗 50mm		15	9	10	2	10	5	5	6	4	66
	フォグガン		4	2	1	1	3	1	1	1	1	15
	ディスクストレーナー		2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	フロートポンプ											0
	防炎シート		1		2		1		2	2		8
危険物 火災用 器 具	消 火 薬 剤 ドリッ ップ	合成界面活性剤 低 発 泡			200	80			60	300		640
	合成界面活性剤 高 発 泡		140	30			260		60	80	140	710
	水 成 膜 泡 消 火 薬 剤		660	170		10	25	140	60			1065
	泡 ノ ズ ル	400型		6	1	1			1			9
	200型				2	1		2	1	1	1	9
	簡易発泡機				1					1		2
	簡易泡混合機 (TPP-1型)								1			1
	簡易泡混合機 (TPP-1型)											
林 野 火災用 器 具	ジェットシャーティー		18	9	5	6	15	4	6	4	7	74
	簡易水槽		4									4
	可搬式送水装置 (TH400M型)											0
危険物 排除用 器 具	オイルフェンス		4	2			2				2	10
	油吸着マット(枚)		173	192	185	56	130	118	358	450	300	1962
	ACライト(kg)		200	30	30	30	210	30	107	60	20	717
訓練用 器 具	消火体験装置 (Kesuzo)	1										1
	スマートマシーン		2				2					4
	訓練用消火器		18	5	5	5	10	5	5	5	5	63
その他の	コンプレッサー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

## 4 応援協定等

協定締結団体名	締結年月日	応援協定の内容
郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合	昭和48年12月 1日	火災・救急・その他の災害
いわき市	昭和49年10月 9日	〃
南会津地方広域市町村圏組合	昭和51年 3月30日	火災・救急・その他の災害
白河地方広域市町村圏整備組合	昭和54年 7月 1日	消防相互応援協定に関する火災及び救急業務の通報取扱いについての覚書
東北自動車道沿線1市4組合	平成 2年 4月 1日	東北自動車道における火災・救急事故・その他の災害
福島県 郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合 須賀川市 玉川村	平成 5年 3月20日	福島空港及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災又は、それらの発生のおそれのある事態に際しての消火救難活動
県内11消防本部	平成 9年12月26日	地震・風水害・林野火災等の大規模災害や石油コンビナート災害・原子力災害等の特殊災害における広域消防活動
〃	平成11年12月27日	火災原因調査
郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合	平成23年 3月26日	あぶくま高原道路における火災・救急事故・その他の災害

協定締結団体名	締結年月日	応援協定の内容
福陽液化ガス株式会社 共同ガス株式会社	昭和56年11月24日	ガス事故発生時の役割分担
県内関係鉄道事業者(10社)	平成22年 3月29日	鉄道災害発生時における連携
株式会社 スペースワン 株式会社 アルサ	平成31年 3月19日	災害現場での情報収集や活動支援

## 5 市町村別各種災害等出場状況

災害別 市町村	計		火 災		風水害等の災害		演習・訓練等		救 急		救助活動	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
須賀川市	4,825 (2)	15,016 (6)	19	390			83	222	3,426 (2)	10,436 (6)	18	145
鏡石町	1,057 (1)	3,073 (3)	8	94			14	31	590 (1)	1,791 (3)	4	33
天栄村	591	1,545	1	19			3	6	275	830	1	7
石川町	1,207	3,952	9	161			21	62	732	2,248	3	24
玉川村	632	1,632	1	5			23	58	300	913	3	16
平田村	648	1,842	6	123	1	4	7	14	262	791		
浅川町	550	1,471	2	43			10	20	240	732	2	15
古殿町	556	1,423					5	13	251	757		
管外	51 (4)	244 (16)		27			28	136	9 (4)	27 (16)		
本年合計	10,117 (7)	30,198 (25)	46	862	1	4	194	562	6,085 (7)	18,525 (25)	31	240
前年合計	9,407 (10)	31,719 (50)	58	1,035	5	27	128	503	6,049 (9)	18,527 (39)	36	461
比較増減	710 (-3)	△ 1,521 (-25)	△ 12	△ 173	△ 4	△ 23	66	59	36 (-2)	△ 2 (-14)	△ 5	△ 221

広報・指導		警防調査		火災調査		特別警戒		捜索		予防查察		誤報等		その他	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
249	682	22	60	29	75	24	95	1	2	141	576			813	2,333
148	298	34	67	6	20	11	21			87	343			155	375
90	170	14	28			14	21	2	5	49	172			142	287
132	435	32	118	7	25	28	101			60	225			183	553
98	184	22	41			6	12			42	153			137	250
142	276	31	65	7	19	11	21			71	289			110	240
125	249	33	66	9	28	23	45			36	144			70	129
141	276	21	43			11	21			49	181			78	132
1	4	1	4	3	9									9	37
1,126	2,574	210	492	61	176	128	337	3	7	535	2,083			1,697	4,336
829	3,255	194	694	48	251	94	383			507	2,003	2	6	1,457	4,574
														(1)	(11)
297	△ 681	16	△ 202	13	△ 75	34	△ 46	3	7	28	80	△ 2	△ 6	240	△ 238
														(-1)	(-11)

( ) 東北自動車道 【 】 管外火災

## 6 市町村別消防水利状況

令和7年4月1日現在

種 別		市町村別	須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
消火栓 (mm)	公 設	150 以上	500	75	32	58	36	57	71	29	858
		150 未満	833	206	157	131	127	121	187	71	1,833
		小 計	1,333	281	189	189	163	178	258	100	2,691
	私 設	150 以上	0	0	9	0	0	0	0	0	9
		150 未満	0	0	131	3	0	0	0	0	134
		小 計	0	0	140	3	0	0	0	0	143
	計		1,333	281	329	192	163	178	258	100	2,834
防火水槽 (m)	公 設	100 以上	10	1	0	0	0	0	0	1	12
		60~100未満	22	1	1	1	1	0	2	3	31
		40~60 未満	271	66	89	127	79	26	63	41	762
		20~40 未満	55	15	7	24	7	0	19	25	152
		小 計	358	83	97	152	87	26	84	70	957
	私 設	100 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		60~100未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		40~60 未満	0	0	3	3	0	0	0	0	6
		20~40 未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計	0	0	3	3	0	0	0	0	6
	計		358	83	100	155	87	26	84	70	963
その 他	プ ー ル		0	3	4	1	3	3	3	1	18
	そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	3	4	1	3	3	3	1	18
合 計			1,691	367	433	348	253	207	345	171	3,815

# 火災・救急・救助



福島県消防救助技術大会 応用登はん



令和6年度救急活動訓練

## 1 市町村別・火災原因別出火件数

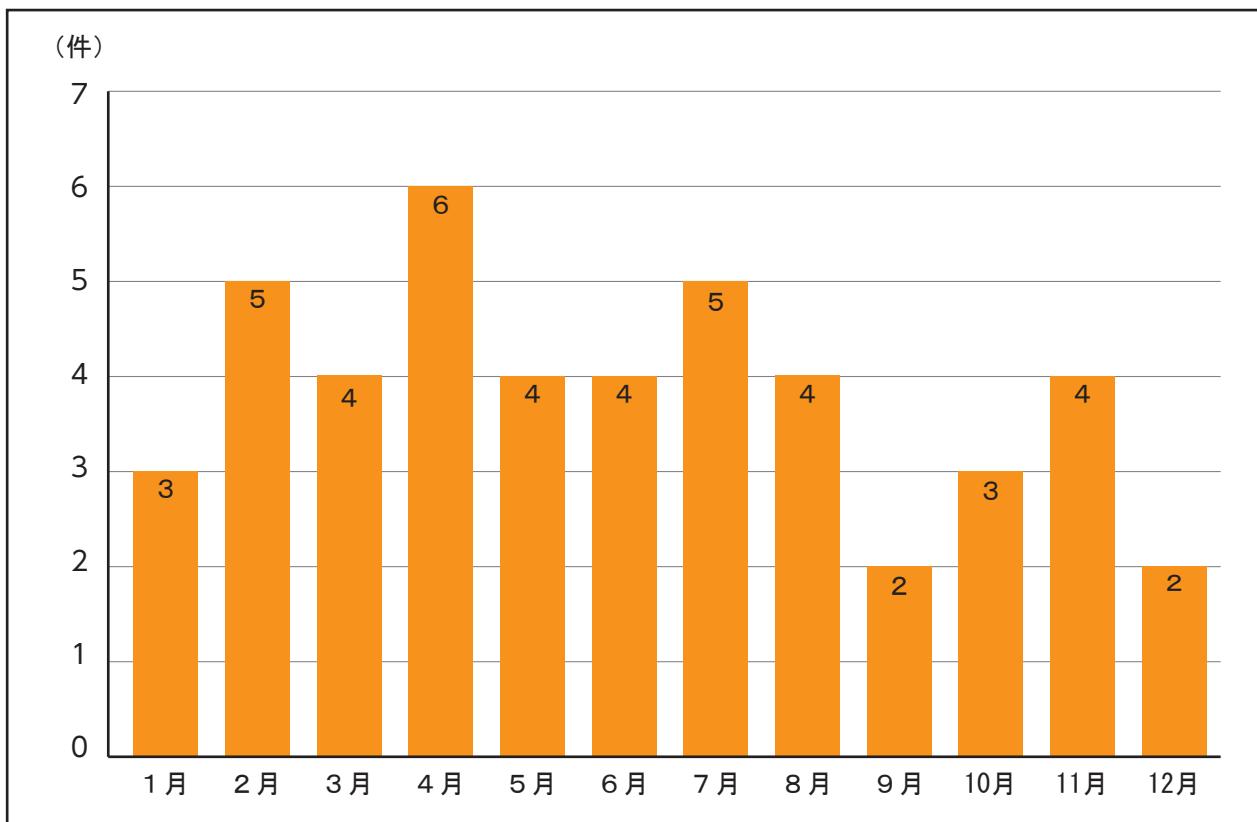
市町村 原因	須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
た ば こ	3			2					5
枯 草 焼 き た き 火 等	2	1	1	1	1	1			7
火 あ そ び									
ガステーブル こ ん ろ									
放 火	1					1			2
風呂・かまど ボイラー	1	2							3
こ た つ ス ト ー ブ		1							1
放火の疑い	3					1			4
マ ッ チ ラ イ タ ー									
煙 突 煙 道									
電灯・電話 等 の 配 線	1					1			2
そ の 他	6	3		5		3	1		18
不 明	2			1			1		4
合 計	19	7	1	9	1	7	2		46

## 2 市町村別火災発生状況

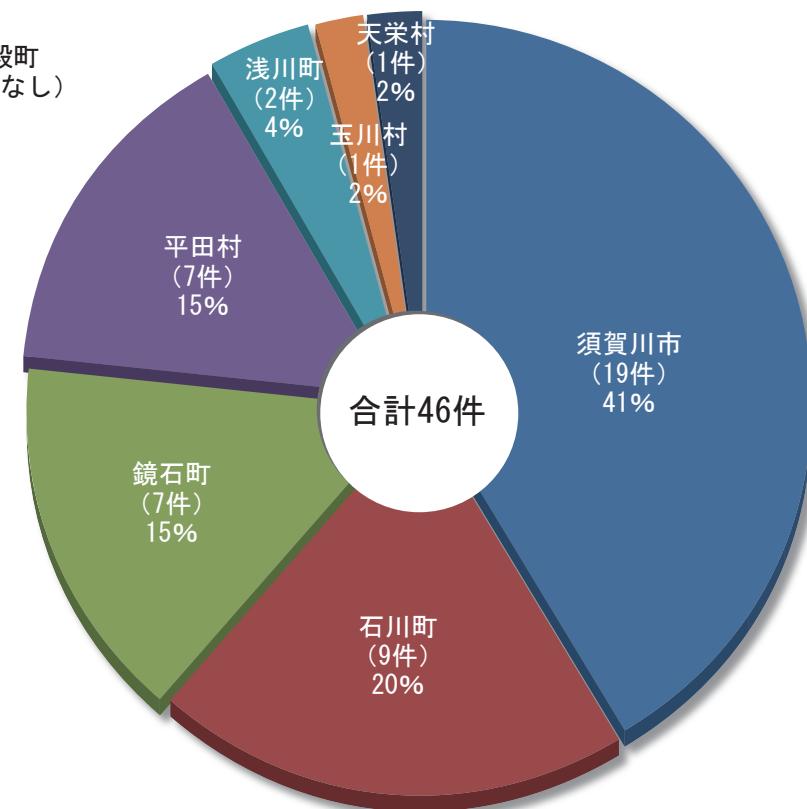
区分 市町村名	出火件数						焼損面積			損害見積額		
	計	建物	林野	車両	航空 ・ 船舶	その他	建物		林野 (a)	計	建物	
		延面積 (m <sup>2</sup> )	表面積 (m <sup>2</sup> )	建築物	収容物						建築物	収容物
須賀川市	19	9	1	2		7	912	103	12	78,085	38,398	6,618
鏡石町	7	4		2		1	5			4,110	1,201	10
天栄村	1					1						
石川町	9	5	2	1		1	551	78	5	12,918	10,613	1,581
玉川村	1					1						
平田村	7	1	2	2		2	353		39	6,357	3,422	989
浅川町	2	2					488	3	4	7,356	6,710	646
古殿町	0											
計	46	21	5	7	0	13	2,309	184	60	108,826	60,344	9,844
前年同期	58	19	11	5	0	23	2,853	110	170	431,940	366,702	28,875
比較増減	△12	2	△6	2	0	△10	△544	74	△110	△323,114	△306,358	△19,031

(単位:千円)				焼損棟数								り災世帯			死傷者			
林野	車両	その他の発	爆	火元棟				延焼棟				全損	半損	小損	り災人員者(人)	傷者(人)	死者(人)	
				全焼	半焼	部分焼	ぼや焼	全焼	半焼	部分焼	ぼや焼							
48	30,761	2,260		4		4	1	1	1	5	1	3			5	25	7	2
		2,009	890			2	2								2	3	1	
			20															
155	549			2		2	1			3					4	14	3	
57	1,586	303		1				1				1				4	4	
				1		1		2				1				5	1	
260	34,905	3,473	0	8	0	9	4	4	1	8	1	5	0	11	51	16	2	
432	2,851	33,350	0	7	1	3	7	7	0	5	1	6	0	9	32	11	1	
△172	32,054	△29,877	0	1	△1	6	△3	△3	1	3	0	△1	0	2	19	5	1	

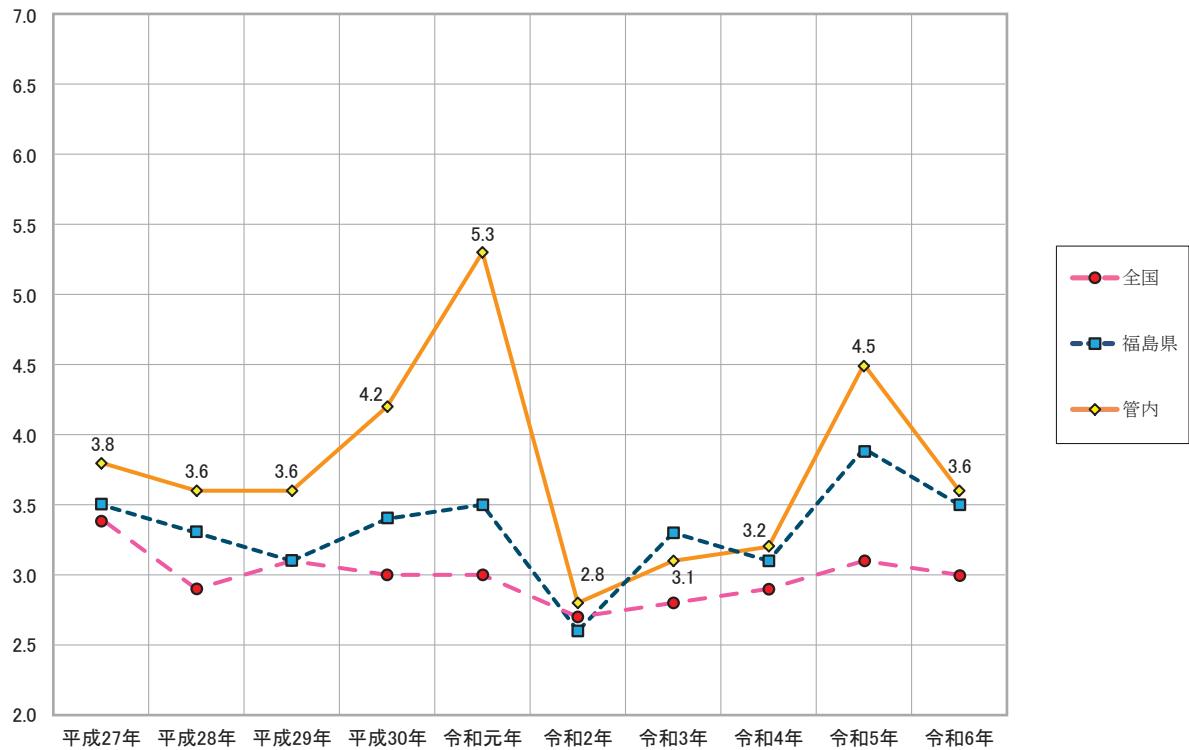
### 3 月別火災件数



### 4 市町村別火災発生状況



## 5 出火率の推移



(出火率とは人口1万人当たりの火災件数)												
年 別		全国	福島県	管内	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町
平成27年	件数	43,632	678	52	24	4	3	6	8	3	0	4
平成27年	出火率	3.4	3.5	3.8	3.1	3.2	5.2	3.6	11.6	4.7	0.0	7.2
平成28年	件数	36,773	640	49	25	6	4	2	4	4	3	1
平成28年	出火率	2.9	3.3	3.6	3.2	4.8	7.2	1.3	5.9	6.2	4.6	1.9
平成29年	件数	39,198	597	49	18	3	3	8	4	5	4	4
平成29年	出火率	3.1	3.1	3.6	2.3	2.4	5.4	5.2	5.9	7.9	6.3	7.7
平成30年	件数	37,900	632	56	29	7	3	8	1	2	4	2
平成30年	出火率	3.0	3.4	4.2	3.8	5.7	5.5	5.3	1.5	3.2	6.3	4.0
令和元年	件数	37,538	657	70	28	7	8	8	6	6	3	4
令和元年	出火率	3.0	3.5	5.3	3.7	5.7	15.0	5.4	9.2	9.9	4.8	8.1
令和2年	件数	34,602	494	38	12	8	2	6	2	2	5	1
令和2年	出火率	2.7	2.6	2.8	1.6	6.3	3.6	4.0	3.0	3.3	7.9	1.9
令和3年	件数	35,077	599	41	17	0	2	5	5	3	4	5
令和3年	出火率	2.8	3.3	3.1	2.3	0.0	3.7	3.4	7.7	5.2	6.4	10.1
令和4年	件数	36,375	569	42	20	1	3	10	1	4	1	2
令和4年	出火率	2.9	3.1	3.2	2.7	0.8	5.6	6.9	1.6	7.0	1.6	4.1
令和5年	件数	38,659	703	58	27	9	5	8	2	3	1	3
令和5年	出火率	3.1	3.9	4.5	3.6	7.2	9.4	5.7	3.2	5.3	1.7	6.3
令和6年	件数	37,036	626	46	19	7	1	9	1	7	2	0
令和6年	出火率	3.0	3.5	3.6	2.6	5.6	1.9	6.5	1.6	12.7	3.4	0.0

当該年の火災件数 × 10,000 (小数点第2位四捨五入)  
令和6年1月1日現在の住民基本台帳による人口

## 6 市町村別救急事故出場件数

事故種別 市町村	計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他の			
		災	害	故	事	害	技	傷	害	為	病	転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他
須賀川市	3,426	10		1	196	59	36	478	12	32	2,294	298	2		8
鏡石町	590	2			42	13	9	96	1	6	402	18			1
天栄村	275				24	7		48		4	188	2			2
石川町	732	9			23	6	10	94	3	6	509	72			
玉川村	300				27	4		35		4	196	34			
平田村	262	2			21	4	1	29	1	3	151	48			2
浅川町	240	2			7	1	1	32		5	190	2			
古殿町	251				7	2	1	31			195	15			
管外	9				3			1			5				
本年合計	6,085	25		1	350	96	58	844	17	60	4,130	489	2		13
前年合計	6,049	27		1	378	74	55	784	11	65	4,181	453			20
比較増減	36	△2			△28	22	3	60	6	△5	△51	36	2		△7

## 7 救急事故月別出場状況

月	事故種別 件 数 人 員	計	火	自	水	交	勞	運	一	加	自	急	その他の			
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	資	その 他
1月	出場件数	543 (1)	2		1	28 (1)	9	3	64	1	4	404	25			2
	搬送人員	478 (1)	1			24 (1)	9	3	57	1	3	355	25			
2月	出場件数	483	1			29	6	1	79		6	324	36			1
	搬送人員	434	1			23	6	1	73		1	294	35			
3月	出場件数	501	3			16	10	2	80	1	5	338	45			1
	搬送人員	437	2			14	9	2	70		4	292	44			
4月	出場件数	475 (1)	4			30	8	6	54	2	5	321 (1)	45			
	搬送人員	438 (1)	1			28	7	6	49	1	2	299 (1)	45			
5月	出場件数	451				34	4	4	66	1	5	288	46	1		2
	搬送人員	396				30	4	4	51		3	258	46			
6月	出場件数	466	1			33	5	8	55	3	5	308	48			
	搬送人員	430				29	5	7	51	3	5	282	48			
7月	出場件数	576	4			25	16	12	65	3	3	394	53			1
	搬送人員	527				24	14	12	62	2	3	357	53			
8月	出場件数	576 (1)	1			33	9	10	89	1	12	380 (1)	40			1
	搬送人員	530 (1)				32	9	10	80	1	9	349 (1)	40			
9月	出場件数	471 (1)	3			23	8	4	65	2	5	332 (1)	26			3
	搬送人員	436 (1)	2			22	8	5	60	2	3	308 (1)	26			
10月	出場件数	480 (1)				40	9	5	69		5	301 (1)	49	1		1
	搬送人員	434 (1)				30	9	5	63		5	274 (1)	48			
11月	出場件数	505 (1)	4			32	7	1	84	1	2	337 (1)	36			1
	搬送人員	469 (1)	4			27	7	1	80	1	1	312 (1)	36			
12月	出場件数	558 (1)	2			27	5	2	74	2	3	403 (1)	40			
	搬送人員	514 (1)				26	5	2	71	2	1	368 (1)	39			
計	出場件数	6,085 (7)	25		1	350	96	58	844	17	60	4,130 (6)	489	2		13
	搬送人員	5,523 (7)	11			309	92	58	767	13	40	3,748 (6)	485			

( ) は東北自動車道

## 8 署所別・市町村別出場状況

( ) は不搬送

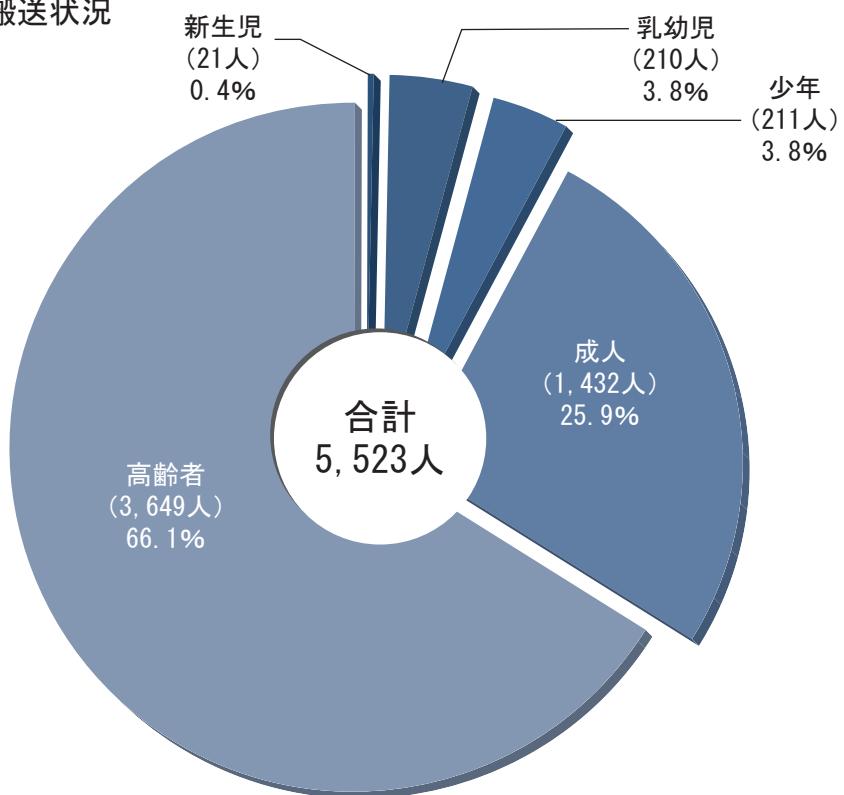
事故種別 署所 市町村	計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 資 機 送材	その 他	
須賀川消防署	須賀川	2,468 (253)	5 (3)			134 (11)	41 (3)	25 (1)	337 (39)	10 (4)	27 (12)	1,629 (171)	252 (1)	2 (2)	6 (6)	
	天栄	15 (2)				2 (2)	1			2		10				
	鏡石	78 (10)	2 (1)			15 (2)	3	4	17 (2)		1 (1)	36 (4)				
	石川	1				3							1			
	玉川	5										2				
	平田	1 (1)				1 (1)						4				
	郡山	4														
	小計	2,572 (266)	7 (4)			155 (16)	45 (3)	29 (1)	356 (41)	10 (4)	28 (13)	1,681 (175)	253 (1)	2 (2)	6 (6)	
長沼分署	天栄	170 (24)				15 (2)	5			26 (4)		1 (1)	120 (15)	1		2 (2)
	須賀川	517 (56)	1 (1)			27 (4)	13	5	79 (8)	1	3	370 (39)	15 (1)		2 (2)	
	鏡石	6 (2)				2 (2)						2				
	石川	1										1				
	小計	694 (82)	1 (1)			1 (1)	44 (8)	18	5	107 (12)	1	4 (1)	493 (54)	16 (1)		4 (4)
鏡石分署	鏡石	485 (47)				24 (4)	9	5	69 (7)	1	4 (1)	355 (34)	17		1 (1)	
	須賀川	281 (23)				24 (6)	3	4	32 (1)	1	2 (1)	187 (15)	28			
	天栄	1														
	玉川	15 (2)				3					1		9 (2)			
	小計	782 (72)				51 (10)	12	9	104 (8)	2	7 (2)	551 (51)	45		1 (1)	
湯本分遣所	天栄	84 (7)				6 (1)	1			19 (2)		3 (1)	55 (3)			
	須賀川	9 (1)	2 (1)							1			6			
	鏡石	1								1						
	下郷	1				1										
	小計	95 (8)	2 (1)			7 (1)	1			21 (2)		3 (1)	61 (3)			
石川消防署	石川	580 (46)	1 (1)			17 (5)	2	8	74 (5)	3	5 (1)	414 (34)	56			
	玉川	16 (2)				3 (1)					1	9 (1)	3			
	平田	18 (2)				5 (2)						9	3			
	浅川	18				2					1		15			
	古殿	12 (2)				3 (2)					1		8			
	須賀川	10 (2)	2 (1)			1				4			3 (1)			
	小計	654 (54)	3 (2)			31 (10)	2	8	81 (5)	3	6 (1)	458 (36)	62			
玉川分署	玉川	259 (13)				17 (3)	3			33 (1)		2	173 (9)	31		
	石川	45 (5)	1 (1)			1	1			4		1	35 (4)	2		
	平田	5 (1)				4 (1)							1			
	浅川	1 (1)	1 (1)													
	須賀川	142 (12)				10 (4)	2	2		26			101 (8)	1		
	天栄	1 (1)											1 (1)			
	鏡石	17 (2)				1 (1)	1				5 (1)	1	9			
	小計	470 (35)	2 (2)			33 (9)	7	2	68 (2)		4		319 (21)	35 (1)		
平田分署	平田	234 (11)				10	4	1	28	1	3	140 (9)	45			2 (2)
	石川	6 (2)	1						2 (1)			3 (1)				
	玉川	3 (1)				1 (1)	1					1				
	古殿	6 (1)				1						5 (1)				
	浅川	2 (1)	1 (1)									1				
	須賀川	2				1							1			
	小野	2 (1)				1 (1)						1				
	いわき	1				1										
	小計	256 (17)	2 (1)			15 (2)	5	1	30 (1)	1	3	151 (11)	46			2 (2)
浅川分署	浅川	217 (20)				5	1 (1)	1	31 (2)		5 (2)	172 (15)	2			
	石川	89 (10)	3 (3)			4 (1)	3	2	13			50 (5)	14 (1)			
	玉川	1 (1)										1 (1)				
	平田	2		1								1				
	古殿	5										4	1			
	須賀川	1 (1)							1 (1)				1			
	鏡石	1														
	棚倉	1							1							
	小計	317 (32)	4 (3)			9 (1)	4 (1)	3	46 (3)		5 (2)	228 (21)	18 (1)			
古殿分署	古殿	228 (16)				3	2	1	30 (2)			178 (14)	14			
	石川	12 (1)	3 (1)			1				1		7				
	平田	3	1			1						1				
	玉川	1										1				
	浅川	1										1				
	小計	245 (17)	4 (1)			5	2	1	31 (2)			188 (14)	14			
	合計	6,085 (583)	25 (15)			1 (1)	350 (57)	96 (4)	58 (1)	844 (76)	17 (4)	60 (20)	4,130 (386)	489 (4)	2 (2)	13 (13)

## 9 市町村別医療機関搬送人員状況

署所 搬送先市町村	須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計
計	2,313	617	714	87	600	437	241	285	229	5,523
須賀川市	1,166	324	350	26	211	208	46	58	56	2,445
天栄村										0
鏡石町			2				1			3
石川町					14	1		5	5	25
玉川村					1					1
平田村	16	1	6		110	44	81	19	65	342
浅川町								3		3
古殿町										0
郡山市	1,015	226	289	11	136	148	95	50	52	2,022
田村市										0
小野町	1						1			2
白河市	28	34	20	38	90	24	4	81	18	337
矢吹町	32	24	27	4	11	10		14	8	130
塙町	2				14		1	52	11	80
西郷村										0
福島市	46	6	17	5	12	2	4	3	4	99
二本松市	4	1	2							7
会津若松市	2	1	1	3						7
いわき市	1				1		8		10	20

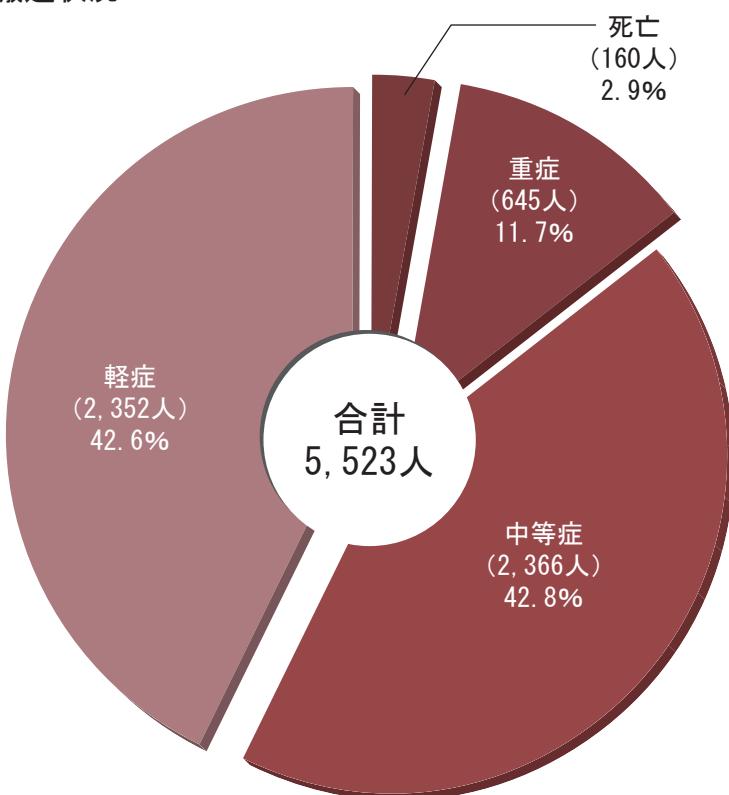
## 10 年齢区分別搬送・傷病程度別搬送状況

年齢区分別搬送状況

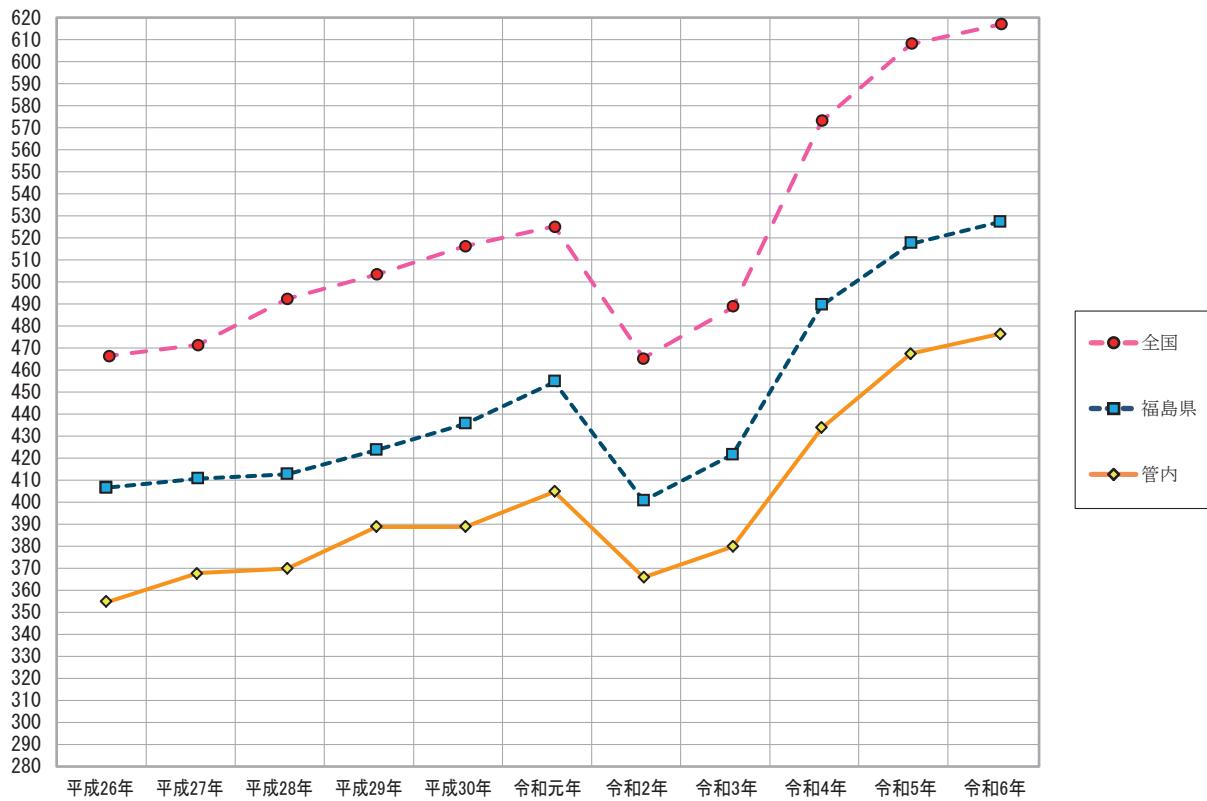


※新生児：生後 28 日未満 乳幼児：生後 28 日～7 歳未満 少年：満 7 歳～満 18 歳未満  
成人：満 18 歳～満 65 歳未満 高齢者：満 65 歳以上

傷病程度別搬送状況



## 11 救急率の推移



年 別		全国	福島県	管内	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	その他
平成26年	件数	5,984,921	80,409	5,016	2,706	440	223	636	297	243	227	231	13
平成26年	救急率	467	407	355	345	341	361	377	418	358	328	386	
平成27年	件数	6,054,815	80,851	5,166	2,883	454	210	645	243	242	236	242	11
平成27年	救急率	472	411	368	368	353	346	389	348	364	344	411	
平成28年	件数	6,210,082	80,246	5,210	2,800	460	241	713	242	286	221	239	8
平成28年	救急率	493	413	370	360	358	408	442	351	444	327	418	
平成29年	件数	6,342,147	82,334	5,265	2,874	459	247	691	246	258	236	239	15
平成29年	救急率	504	424	389	370	358	418	428	357	401	350	419	
平成30年	件数	6,608,341	84,757	5,385	2,930	472	232	685	300	297	233	223	13
平成30年	救急率	517	436	389	377	368	393	425	435	461	345	390	
令和元年	件数	6,639,751	84,667	5,366	2,945	477	239	720	276	263	211	222	13
令和元年	救急率	526	455	405	387	387	449	483	421	433	339	452	
令和2年	件数	5,933,390	75,604	4,900	2,688	448	208	631	239	239	212	226	9
令和2年	救急率	466	401	366	352	363	369	418	359	395	334	436	
令和3年	件数	6,193,663	78,737	5,037	2,780	469	213	672	231	249	224	191	8
令和3年	救急率	489	422	380	366	370	386	455	352	422	358	379	
令和4年	件数	7,229,838	90,243	5,679	3,135	564	251	700	284	259	250	225	11
令和4年	救急率	574	490	434	417	447	464	486	442	450	406	462	
令和5年	件数	7,637,967	94,290	6,049	3,421	505	238	809	303	277	216	269	11
令和5年	救急率	609	518	468	458	403	449	573	480	492	361	563	
令和6年	件数	7,717,123	94,866	6,085	3,426	590	275	732	300	262	240	251	9
令和6年	救急率	618	528	477	464	474	524	527	485	475	407	539	

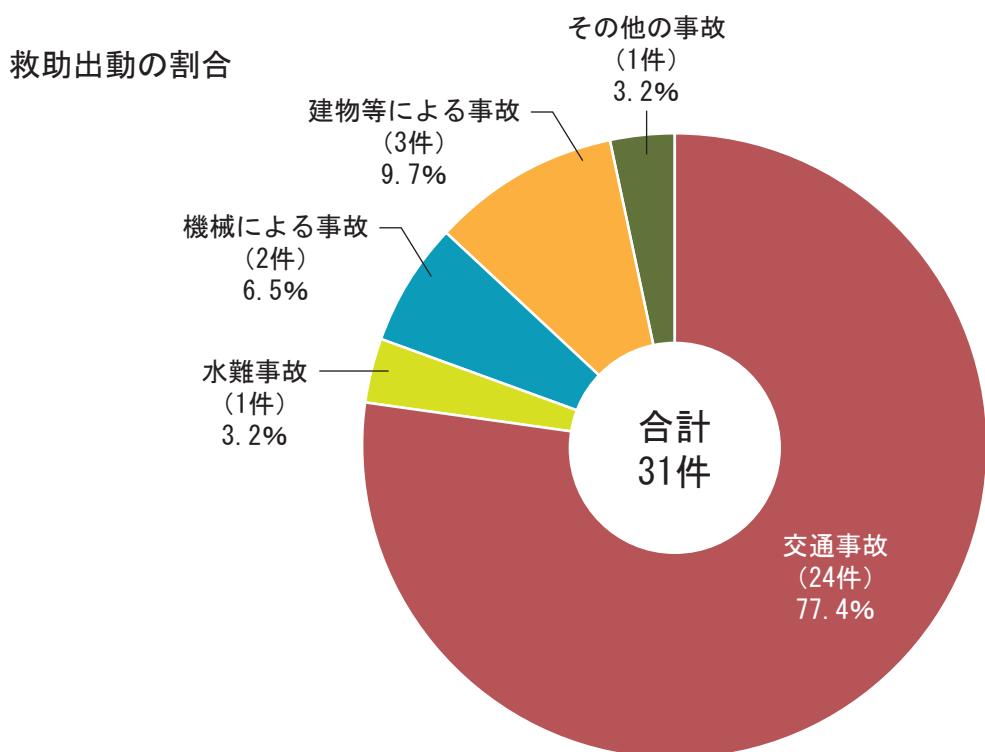
当該年の救急件数 × 10,000 (小数点第1位四捨五入)  
令和6年1月1日現在の住民基本台帳による人口

## 12 救急用機器材の配置状況

種別		署 所	須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計
観察用資器材	血圧計		4	1	2	1	3	2	2	2	1	18
	血中酸素飽和度測定器		9	2	1	2	2	1	2	2	1	22
	生体情報モニタ		1	1		1			1	1		5
	生体情報モニタ(半自動除細動機能付)		2		1		2	1			1	7
	聴診器		7	3	2	2	7	3	1	2	3	30
	血糖値測定器		3	2	1		1	1	1	1	1	11
呼吸・循環・管理用資器材	吸引器一式		3	1	2	1	4	1	2	3	2	19
	喉頭鏡		7	3	2	1	6	3	3	3	2	30
	ビデオ喉頭鏡		7		1		2					10
	酸素吸入器一式		6	2	2	2	5	2	2	3	2	26
	自動式人工呼吸器一式		3	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	自動体外式除細動器		3	2	2	2	2	2	2	2	2	19
	バッグバルブマスク		12	7	8	4	6	6	8	8	9	68
	マギール鉗子		29	6	6	4	6	6	5	5	4	71
	呼気二酸化炭素測定器具		2	2			5	1			1	11
	自動式心マッサージ器		3	1	1	1	2	1	1	1	1	12
創傷等保護用資器材	ショックパンツ			1	1		1	1	1		1	6
	陰圧式固定具		2	1	1	1	1	1	2	1	2	12
保温・搬送用資器材	頸椎カラー		33	12	8	6	19	13	10	8	8	117
	メーンストレッチャー		3	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	サブストレッチャー		3		1	1	1				1	7
	スクープストレッチャー		7	2	1	1	3	1	2	2	2	21
感染防止・消毒用資器材	バックボード		8	3	1	2	5	1	2	1	1	24
	感染防止用キット		66	25	30	12	65	41	25	7	21	292
	N-95マスク		3670	50	80	300	90	140	401	50	220	5001
	救急車内養生シート		4	1	3		1	2	2	2		15
	滅菌器											
	救急車室内殺菌灯						1				1	2
	自動式手指消毒器											
通信用資器材	足踏み式手指消毒器							1	1			2
	回転式紫外線殺菌ロッカー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	無線装置		2	1	1	2	2	2	3	2	1	16
	携帯電話(伝送装置含む)		2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
救出用資器材	情報通信端末											
	心電図伝送等送受信機器											
その他の資器材	救命浮環		2	3	1	1	1	1	2	1	1	13
	万能斧		3	2	1	1	2	1	2	1	1	14
訓練用資器材	トリアージタグ		239	86	24	50	183	63	59	69	61	834
	分娩用資器材一式		3	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	在宅療法継続用資器材											
	リングカッター		2				2					4
訓練用資器材	気管挿管訓練人形(ACLS人形含)		1				2					3
	訓練用人形(成人用)		9	2	2	1	11	2	2	2	2	33
	訓練用人形(乳幼児用)		4	2			3					9
	AEDトレーナー		10				7	1				18

## 13 事故種別救助出動状況

事故種別	活動件数	活動件数	救助人員	程度別				
				死 亡	重 症	中等症	輕 症	その他の
火 災								
交 通 事 故	24	17	18	2	2	8	6	
水 難 事 故	1	1	1	1				
風 水 害 等 自然災害事故								
機 械 に よ る 事 故	2							
建 物 等 に よ る 事 故	3	3	4			1		3
ガス及び 酸欠事故								
破 裂 事 故								
その他の事故	1	1	1				1	
本年合計	31	22	24	3	2	9	7	3
前年合計	36	24	25	2	2	7	11	3
比較増減	△5	△2	△1	1	0	2	△4	0



## 14 救助用機器材の配置状況

種別	署所		須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計
	須賀川消防署	長沼分署										
一般救助用具	かぎ付きはしご	3	1				1				1	6
	三連梯子	6	1	1	1	2	1	1	1	1	1	15
	金属製折りたたみ梯子またはワイヤー梯子	1					1					2
	空気式救助マット	1					2					3
	救命索発射銃	1					1					2
	サバイバースリングまたは救助用縛帶	9	2			2	4	1	1	1	1	21
	平担架	1										1
重量物排除用具	油圧ジャッキ	2					1		1		1	5
	油圧スプレッダー	1				1					1	3
	可搬ワインチ	2	1				1	1	1		1	7
	マンホール救助器具	1										1
	救命用簡易起重機											
	マット型空気ジャッキ	2					2					4
	大型油圧スプレッダー	1					1					2
	救助用支柱器具	1										1
切断用具	チェーンブロック											
	油圧切断機	2				1	1				1	5
	エンジンカッター	3	2	1	1	2	1	1	1	1	1	13
	ガス溶断器	1										1
	チーンソー	4	2	2	1	2	1	1	1	1	1	15
	鉄線カッター	9	2	3	2	2	1	1	1	1	1	22
	空気鋸	1					1					2
	大型油圧切断機	2					1					3
	空気切断機	1										1
破壊用具	コンクリート鉄筋切断用チーンソー											
	万能斧	23	6	5	4	6	5	7	4	5	65	
	ハンマー	4	3	2	2	2	1	1	1	2	18	
	携帯用コンクリート破壊器具	1				1						2
	削岩機											
検知・測定用具	ハンマードリル	1				1						2
	生物剤検知器											
	可燃性ガス測定器				1						2	3
	有毒ガス測定器	5	1	2	2	3	2	2	2	2	21	
	酸素濃度測定器	1									1	2
	放射線測定器	4	12	8	2	1		8	2	8	45	
呼吸保護用具	空気呼吸器	20	5	4	4	9	4	4	4	4	4	58
	空気補充用ポンベ	90	10	8	8	27	8	8	8	8	8	175
	酸素呼吸器	8										8
	簡易呼吸器	2										2
	防塵マスク	45	19	5	9		9		5			92
	送排風機	2										2
	エアラインマスク											
隊保器具	耐電手袋	10	5	3	3	6	4	2	9	4	46	
	耐電衣	4					2					6
	耐電ズボン	6					2					8
	耐電長靴	10	6	3	3	6	4	2	6	4	44	
	防塵メガネ		5	5	6	2	3			5	26	
	携帯警報器	19	4	3	2	8	3	3	4	3	49	
	防毒マスク		3	5		4						12
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	8				9	11	37		8		73
	陽圧式化学防護服	6					4					10
	耐熱服	4										4
	放射線防護服											
	特殊ヘルメット											

種別		署所		須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計
隊員保護用器 具	除染シャワー												
	除染剤散布器												
水 救 助 難 用 器	潜水器具	14											14
	救命胴衣	40	5	8	3	17	8	4	8	7		100	
	水中投光器	1											1
	救命浮環	8	2		3	1	1	1	1				17
	浮標	7					5						12
	救命ボート	5					2						7
	船外機	3					1						4
	水中スクーター												
	水中無線機												
	水中時計	11											11
	水中テレビカメラ												
山岳救助用器 具	登山器具												
	バスケット型担架	6	1				1						8
検索用具	簡易画像探索器	1	1	1	1				1	1	1		7
高 救 助 器 度 用 具	画像探索器												
	地中音響探知機												
	熱画像直視装置	2		1			1			1			5
	夜間用暗視装置												
	電磁波探査装置												
	二酸化炭素探査装置												
	水中探査装置												
その他の 救助用具	地震警報器												
	投光器	7	3	2	2	3	2	2	1	2		24	
	携帯投光器	9	2	1	1	3	1	1	1	2		21	
	携帯拡声器	10	4	2	3	4	2	10	3	2		40	
	携帯無線機	10	4	3	2	19	3	5	5	2		53	
	応急処置用セット	7	1	1	1	2		3	1	1		17	
	車両移動器具	1											1
	緩降機	1											1
	ロープ登降機	6				1	8						15
	救助用降下機	6											6
その他	発電機	9	3	2	2	3	2	3	2	1		27	
	大型ブロアー												
	ウォーターカッター												





予  
防

令和6年度 火災予防絵画・ポスターコンクール



消防ふれあいデー

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

令和7年度 防火標語

# 1 市町村別防火対象物

市町村別 防火対象物の別			須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
1 項	イ	劇場・映画館等	3	1			1				5
	口	公会堂・集会場	28	3	7	10	4	9	10	12	83
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	口	遊技場・ダンスホール	11			3			1		15
	ハ	風俗営業店等									
	二	カラオケボックス等、その他個室利用店舗				1					1
3 項	イ	待合・料理店等	3			1			1		5
	口	飲食店	52	2	3	5		3	2	1	68
4 項		百貨店・マーケット 展示場等	122	21	9	25	14	7	6	5	209
5 項	イ	旅館・ホテル等	17	4	27	16	2	2		3	71
	口	寄宿舎・共同住宅等	513	92	18	46	28	7	19	9	732
6 項	イ	病院・診療所等	69	6	2	7	2	3	2	1	92
	口	老人短期入所施設等	28	4	2	7	2	4		3	50
	ハ	老人デイサービスセンター等	77	6	5	13	5	4	3	2	115
	二	幼稚園・特別支援学校	7	2	1	2	2				14
7 項		小・中・高・大学校等	72	15	11	14	6	6	5	3	132
8 項		図書館・美術館等	9	2	1	1		1	3	1	18
9 項	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1								1
	口	9 項イ以外の公衆浴場									
10 項		車両の停車場等					1				1
11 項		神社・寺院・教会等	14	1		4				3	22
12 項	イ	工場・作業場	472	168	50	105	52	55	91	64	1,057
	口	映画スタジオ テレビスタジオ									
13 項	イ	自動車車庫・駐車場	11		3	3	2	1	1	3	24
	口	飛行機等格納庫					3				3
14 項		倉庫	273	54	16	44	23	11	24	16	461
15 項		前各項に該当しない事業所	316	50	56	99	48	63	36	23	691
16 項	イ	1~4 項まで、5 項イ、6 項 9 項イの存する複合対象物	125	13	10	28	6	3	3		188
	口	16 項イ以外の用途に供する 部分の存する複合対象物	53	5	2	15	3	4	1	3	86
17 項		重要文化財・重要有形民俗文 化財・史跡	7	4	4	2	1				18
計			2,283	453	227	451	205	183	208	152	4,162

※防火対象物は、建物の棟数で計上

## 2 市町村別危険物施設

市町村別 製造所等の別		須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
製 造 所		7	2		1					10
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	42	16	4	12	7	2	3	1	87
	屋外タンク貯蔵所	30	2	2	8	1	2			45
	屋内タンク貯蔵所	5			1	1				7
	地下タンク貯蔵所	58	7	10	20	6	5		2	108
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所	45	10	7	4	2	3	2	4	77
	屋 外 貯 蔵 所	5	4	1	1	1	1		1	14
小 計		185	39	24	46	18	13	5	8	338
取 扱 所	給 油 取 扱 所	52	8	8	15	5	6	3	7	104
	販 売 取 扱 所									
	移 送 取 扱 所									
	一 般 取 扱 所	57	6	2	13	7	4	1	3	93
	小 計	109	14	10	28	12	10	4	10	197
合 計		301	55	34	75	30	23	9	18	545

(注) 施設数は、完成検査済証交付施設(令和7年4月1日現在)

### 3 建築確認同意状況

月 用途別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総件数(件)		6	4	8	5	8	11	10	6	10	7	9	5	89
同意(件)		5	2	7	5	8	11	10	6	10	7	9	5	85
指導同意(件)		1	2	1										4
不同意(件)														0
特殊建築物	新築	4	2	3	4	5	4	3	3	4	1	3	2	38
	増改築				1		1		1	1	2	1		7
専用住宅	新築			1			3	2		2	1	1		10
	増改築													0
併用住宅	新築													0
	増改築													0
店舗	新築					1	1					1		3
	増改築													0
その他の建築物	新築	2	2	4		2	1	4	2	3	3	3	3	29
	増改築						1	1						2

1 特殊建築物欄は、150m<sup>2</sup>以上の特殊建築物数（150m<sup>2</sup>以上の特殊建築物を有する併用住宅数を含む。）

2 併用住宅欄は、150m<sup>2</sup>以下の特殊建築物を有する併用住宅数

3 店舗欄は、150m<sup>2</sup>以下であって店舗併用住宅以外の建築物数

4 その他の建築物欄は、上記の1、2、3及び専用住宅以外の建築物数

#### 4 市町村別三階以上の建築物棟数

市町村	階数	計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階
須賀川市	307	221	40	27	8	3	3	3	1			1
鏡石町	27	17	7	2		1						
天栄村	11	9	1	1								
石川町	58	42	11	3	1		1					
玉川村	16	13	2	1								
平田村	9	7	2									
浅川町	12	9	1	2								
古殿町	7	7										
計	447	325	64	36	9	4	4	3	1			1

## 5 広報・広聴活動実施状況

行 事	実施状況	回 数	内 容 又 は 対 象
防 火 座 談 会 ( 防 火 映 画 )		110	防火講話、防火講習会、花火教室等 (地区住民、事業所、学校、女性消防隊等)
消 防 施 設 見 学		55	庁舎・施設・車両等見学、職場体験 (保育所、幼稚園、小学校、中学校等)
消 防 訓 練 〔 消火器取扱訓練 〕 〔 避 難 訓 練 〕 〔 起 震 車 体 験 〕		224	通報訓練、避難訓練、起震車体験、消火訓練等 (地区住民、事業所、学校、女性消防隊等)
車 両 広 報		298	ポンプ車、広報車等により実施 (予防週間中、気象注意報等発令中)
防 火 広 報 紙		40	火災予防のP R、応急処置等 (文化祭、火災予防運動、林野火災発生防止啓発、気象注意報等発令中)
防 火 ポ ス タ ー 展		14	火災予防のP R (公共施設、百貨店、文化祭等に展示) (保育所、幼稚園、小・中学校を対象)
防 火 看 板		381	火災予防運動、山火事防止運動のP R、危険物安全週間 (予防週間中、火災多発期)
横 断 幕 ・ 懸 垂 幕 の ぼ り 旗 揭 出		391	火災予防のP R (火災予防週間中、危険物安全週間中、常時掲出)
応急手当 普及啓発 講 習	上級救命講習Ⅰ (8時間)	0	心肺蘇生法(成人・小児・乳児・新生児を対象)、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法 住民、特別養護老人ホーム職員、事業所等
	普通救命講習Ⅰ (3時間)	19	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法 住民、事業所、中学生・高校生等
	普通救命講習Ⅱ (4時間)	4	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法、試験 住民、事業所等
	普通救命講習Ⅲ (3時間)	2	心肺蘇生法(主に小児・乳児・新生児を対象)、大出血時の止血法 住民、幼稚園・保育園職員等
	救命入門コース (90分)	13	胸骨圧迫及びA E Dの取扱い 住民、事業所、小学生・中学生・高校生等
	一般救急法講習	61	心肺蘇生法、止血法、その他応急処置の要望に応じて 住民、事業所等



# 通信指令

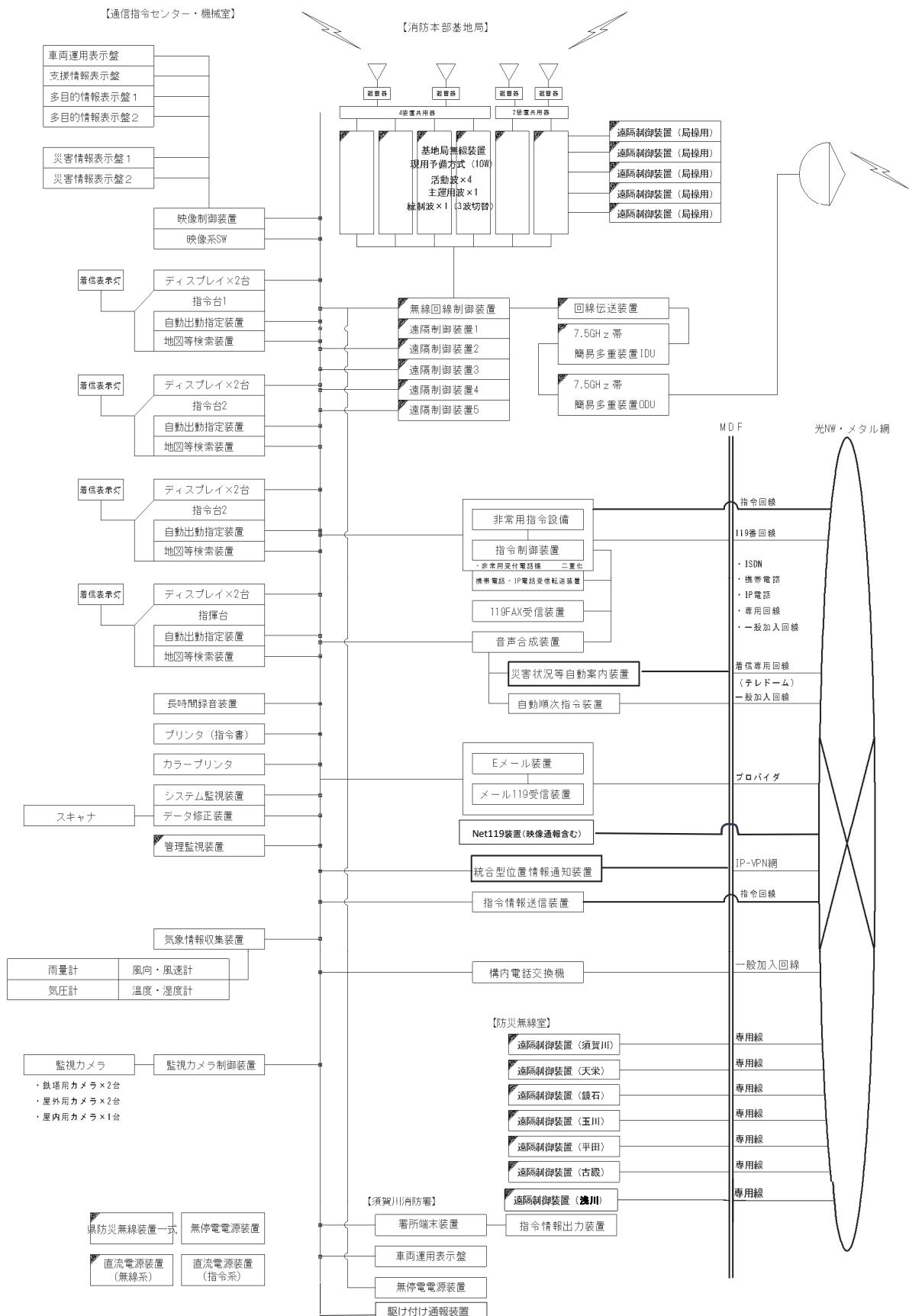


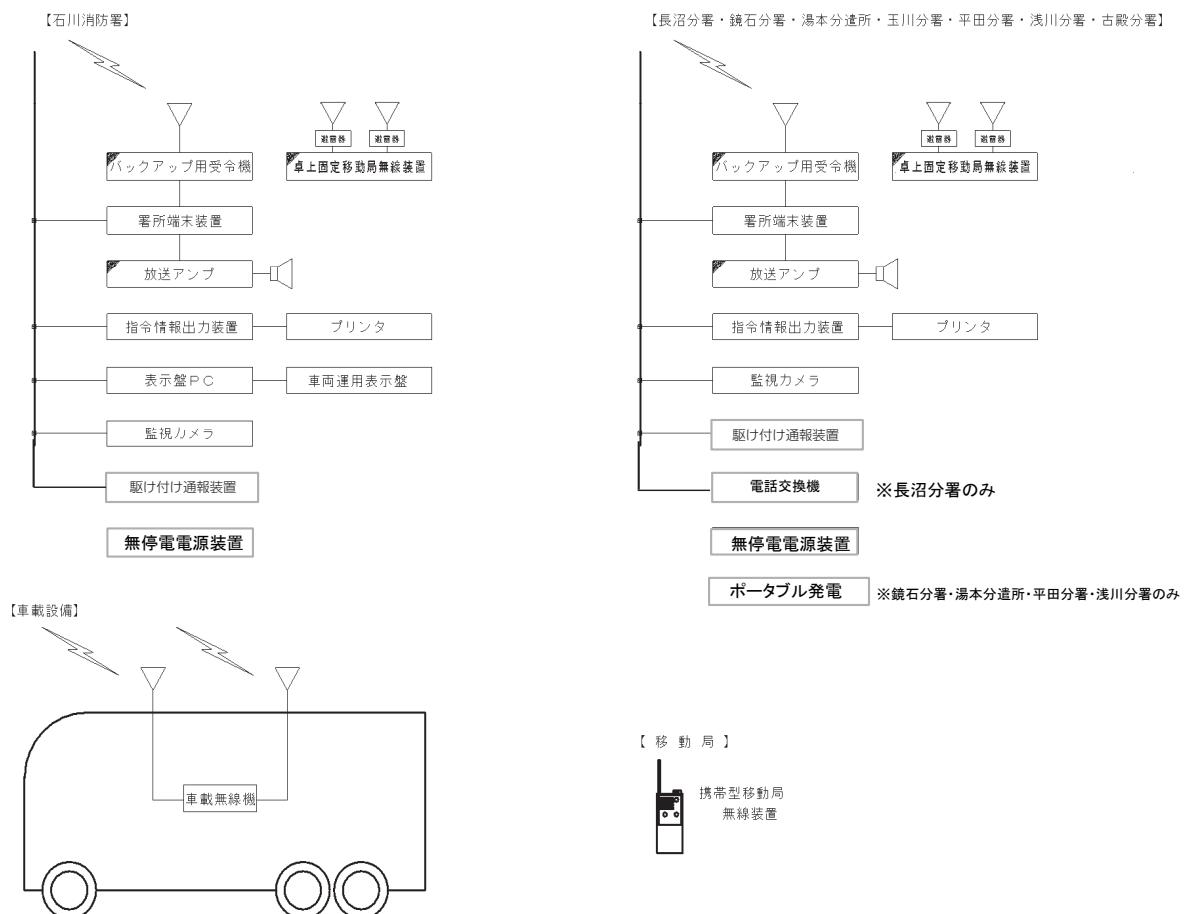
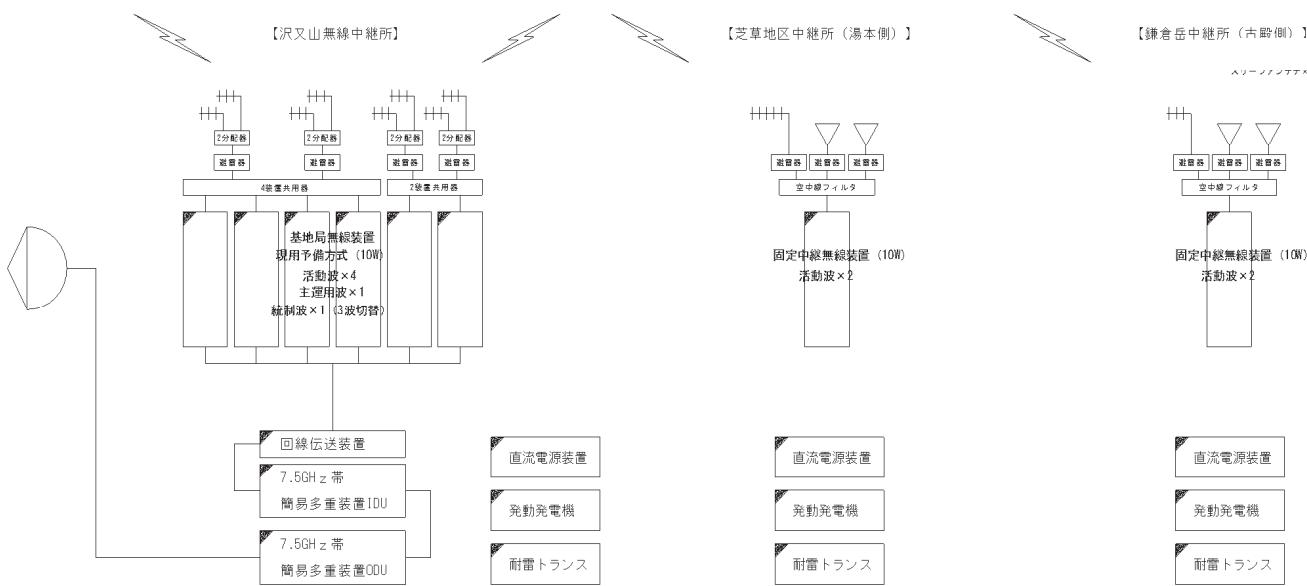
須賀川地方広域消防組合 高機能消防指令センター

# 1 消防通信施設等

区分	計	消防本部	沢又山中継所	芝草中継所	鎌倉中継所	須賀川消防署				石川消防署				
						本署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	本署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署
内訳														
消防救急指令台	4	4												
119番専用電話 (携帯電話を含む)	8	8												
専用回線 (高速道路、119FAX)	2	2												
順次指令装置	1	1												
衛星通信回路	1	1												
ファクシミリ回線	11	2				1	1	1	1	1	1	1	1	1
気象観測装置	1	1												
消防情報センター	20	20												
地図等検索装置	13	4				1	1	1	1	1	1	1	1	1
災害時通信用携帯電話	25	5				4	2	2	1	3	2	2	2	2
デジタル無線設備	固定局	5	1	2	1	1								
	基地局	4	1	1	1	1								
	移動局 (陸上移動局)	53	1				15	5	4	3	9	4	4	4
	携帯局 (携帯局)	46	7				10	4	4	2	7	3	3	3
アナログ無線設備	基地局													
	陸上移動局 (車載型)													
	陸上移動局 (携帯局)	3	3											
無線従事者	第1級陸上	3	2											1
	第2級陸上	35	7				8	2	4	1	4	1	2	1
	第3級陸上	164	26				41	12	10	8	25	12	11	8

## 2 高機能消防指令センターシステム系統図





### 3 通報受付状況

災害種別	火災		救急		救助		その他		問い合わせ		いたずら		間違い		重複		テスト		要請取消		合計	
	119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番	
	固定	携帯	固定	携帯																		
月別	119番以外																					
1月	3	500		4	9		59		11		32		29		60		0		707			
	1	2	203	297	1	3	5	4	13	46	1	10	5	27	3	26	44	16	0	0	276	431
	0	43		2	25		2		0		1		0		4		0		77			
2月	3	438		2	9		56		5		36		18		48		11		626			
	1	2	238	200	1	1	5	4	9	47	1	4	10	26	6	12	34	14	2	9	307	319
	2	45		0	11		0		0		0		0		0		0		0		0	58
3月	2	468		1	6		71		5		39		30		76		10		708			
	1	1	234	234	0	1	4	2	17	54	2	3	13	26	11	19	61	15	5	5	348	360
	2	33		0	12		0		0		0		0		3		0		50			
4月	6	440		1	10		49		3		42		19		88		12		670			
	2	4	206	234	0	1	4	6	15	34	0	3	9	33	7	12	63	25	1	11	307	363
	0	35		0	11		0		0		1		0		0		1		48			
5月	4	425		1	3		52		1		48		34		72		11		651			
	2	2	217	208	0	1	2	1	17	35	0	1	12	36	8	26	56	16	4	7	318	333
	0	26		1	13		0		0		0		0		0		0		40			
6月	4	435		1	7		62		1		42		18		80		5		655			
	1	3	211	224	0	1	3	4	18	44	0	1	11	31	3	15	62	18	2	3	311	344
	0	31		0	9		1		0		0		0		3		0		44			
7月	3	541		3	6		104		25		38		36		54		9		819			
	2	1	249	292	0	3	2	4	32	72	0	25	2	36	5	31	33	21	0	9	325	494
	2	35		1	22		1		0		0		0		3		0		64			
8月	2	539		1	7		87		1		38		16		52		5		748			
	0	2	238	301	0	1	3	4	24	63	1	0	13	25	3	13	34	18	0	5	316	432
	1	37		1	20		0		0		0		0		6		1		66			
9月	2	440		1	5		63		1		50		18		87		10		677			
	1	1	205	235	0	1	5	0	22	41	1	0	13	37	5	13	71	16	5	5	328	349
	0	31		1	7		1		0		1		2		8		0		51			
10月	4	446		1	14		46		0		45		28		106		4		694			
	0	4	221	225	0	1	7	7	12	34	0	0	12	33	8	20	87	19	2	2	349	345
	0	34		2	15		1		0		0		0		12		0		64			
11月	4	473		3	9		62		0		28		37		112		3		731			
	1	3	232	241	0	3	3	6	21	41	0	0	4	24	10	27	79	33	2	1	352	379
	0	32		0	16		1		0		2		0		6		0		57			
12月	2	526		4	17		82		2		32		28		78		7		778			
	0	2	238	288	0	4	6	11	17	65	1	1	12	20	7	21	53	25	1	6	335	443
	0	32		0	17		0		0		0		0		1		0		50			
合計	39	5,671		23	102		793		55		470		311		913		87		8,464			
	12	27	2,692	2,979	2	21	49	53	217	576	7	48	116	354	76	235	677	236	24	63	3,872	4,592
	7	414		8	178		7		0		5		2		46		2		669			

### 4 消防情報センター利用状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数	3,455	3,488	3,579	3,654	4,325	3,686	4,036	2,546	2,947	3,209	2,028	3,697	40,650

※ 火災の問い合わせは、消防情報センター(0248-76-8181)をご利用ください。

## 5 気象状況

月区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
気温	平均	2.8	3.7	5.0	14.4	17.3	21.7	26.2	27.1	23.7	17.1	10.0	3.7	14.4
	最高	14.0	17.6	18.3	29.8	29.6	33.3	36.2	37.3	34.9	29.6	23.1	16.8	37.3
	起日	1月6日	2月15日	3月17日	4月28日	5月5日	6月14日	7月7日	8月4日	9月11日	10月2日	11月17日	12月3日	
	℃ 最低	-5.3	-5.8	-3.5	3.1	3.6	13.5	19.2	21.5	13.5	3.2	-1.2	-3.9	-5.8
降雨量	起日	1月12日	2月7日	3月23日	4月10日	5月10日	6月4日	7月13日	8月1日	9月25日	10月21日	11月26日	12月21日	
	平均湿度	67.6	66.4	66.6	66.2	68.6	73.7	78.8	83.2	85.3	82.8	74.7	67.5	73.5
	合計	45.0	32.5	113.5	58.5	136.5	56.5	89.0	142.0	104.0	76.0	72.0	0.5	合計 926.0
	1日最大	38.0	11.5	27.5	46.5	51.0	16.0	23.0	36.0	27.0	23.0	27.0	0.5	年平均 77.2
天候	起日	1月21日	2月21日	3月12日	4月9日	5月28日	6月18日	7月14日	8月17日	9月19日	10月30日	11月17日	12月18日	
	晴	13	14	14	14	18	13	9	9	7	7	20	19	157
	曇	18	13	16	15	10	15	21	21	22	23	9	12	195
	雨	0	1	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	14
風速	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	最多風向	北北西	北西	北西	南南東	南	南	北北西	南	北	北	北北西	北西	南
	平均	2.4	2.6	2.6	2.3	2.6	2.1	1.7	2.0	1.8	1.7	1.9	2.2	2.2
	最大瞬間	23.3	21.2	23.0	21.0	18.6	15.1	14.5	14.7	13.7	18.4	17.1	18.7	23.3
風向	風向	西北西	西北西	北西	北西	北西	北北西	西	北	北西	西北西	西北西	北西	北西
	起日	1月15日	2月16日	3月18日	4月19日	5月25日	6月25日	7月10日	8月20日	9月15日	10月30日	11月7日	12月31日	



消  
防  
団



令和6年度天栄村消防団秋季検閲式



第34回天栄村消防団消防操法大会

# 1 市町村消防団幹部名簿

令和7年4月1日現在

市町村	職	氏名	備考
須賀川市	団長	五十嵐伸	福島県消防協会須賀川支部理事
	副団長	関根栄治	〃 監事
	副団長	小林利之	〃 評議員
	副団長	須藤晃弘	〃 評議員
鏡石町	団長	添田孝利	福島県消防協会須賀川支部副支部長
	副団長	影山圭一郎	〃 評議員
	副団長	鈴木勝	〃 評議員
天栄村	団長	常田広美	福島県消防協会須賀川支部支部長
	副団長	金子孝行	〃 監事
石川町	団長	佐藤正一	福島県消防協会石川支部副支部長
	副団長	小林裕明	〃 評議員
	副団長	芳賀元春	〃 評議員
玉川村	団長	大野政幸	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	関根和美	〃 評議員
	副団長	石森洋幸	〃 評議員
平田村	団長	鈴木孝	福島県消防協会石川支部支部長
	副団長	澤村兼人	〃 監事
	副団長	宗像真一	〃 評議員
浅川町	団長	岡田辰夫	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	金成靖	〃 監事
	副団長	川音賢一	〃 評議員
古殿町	団長	矢内忠徳	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	遠藤幸夫	〃 評議員
	副団長	渡邊家伸	〃 評議員

## 2 市町村消防団員階級別実員

市町村 階級	須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	8
副 団 長	3	2	1	2	2	2	2	2	16
総務部長 庶務部長	1	1		1	1	1	1		6
訓練部長 訓練指導員	5	3	2	2	13	1	2	2	30
分 団 長	13	7	4	6	11	5	6	3	55
副分団長	13	7	3	7	11	5	6	3	55
部 長	67	13		42		4		12	138
副 部 長				29					29
班 長	75	12	22	34	34	19	15	46	257
副 班 長			20				15		35
団 員	641	102	102	255	153	160	174	151	1,738
計	819	148	155	379	226	198	222	220	2,367

### 3 市町村消防団員の勤続年数

市町村 年数	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
5年未満	134	39	33	49	46	22	27	27	377
5年以上~10年未満	167	43	31	91	45	31	36	43	487
10年以上~15年未満	151	28	31	102	60	47	31	39	489
15年以上~20年未満	174	22	32	81	54	44	63	52	522
20年以上~25年未満	117	9	15	38	19	35	49	38	320
25年以上~30年未満	61	6	9	14	2	14	14	17	137
30年以上~35年未満	11	1	1	3		3	2	1	22
35年以上~40年未満	3		3	1				3	10
40年以上~45年未満	1					2			3
45年以上~50年未満									0
50年以上									
計	819	148	155	379	226	198	222	220	2,367
平均勤続年数	13.4	9.9	13.1	11.9	11.1	14.6	14.6	14.1	12.8

#### 4 市町村消防団員の年齢

市町村 年齢	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
20歳未満	4	2	1			1	1		9
20歳以上～25歳未満	40	15	14	16	12	4	8	2	111
25歳以上～30歳未満	77	30	19	32	32	13	20	12	235
30歳以上～35歳未満	145	28	32	72	40	30	32	14	393
35歳以上～40歳未満	192	39	35	112	69	47	45	51	590
40歳以上～45歳未満	166	18	24	85	51	53	66	47	510
45歳以上～50歳未満	106	9	14	46	18	32	36	52	313
50歳以上～55歳未満	34	4	7	13	3	14	10	11	96
55歳以上～60歳未満	19	2	4	1	1	2	1	5	35
60歳以上～65歳未満	16	1	5	1		2	3	14	42
65歳以上～70歳未満	20				1			12	33
70歳以上									
計	819	148	155	379	226	198	222	220	2,367
平均年齢	39.0	34.4	37.0	36.3	35.9	39.7	38.9	43.8	38.1

## 5 非常備消防力の配備状況

区分 市町村	分団数	定 数	実 員	消 防 ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	消防ポンプ1台あたり			団員1人あたり	
							人 口 (人)	世帯数 (世帯)	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世帯数 (世帯)
須賀川市	13	998	819	14	57	3	980.9	415.6	3.8	88.6	37.5
鏡石町	8	208	148	5	8	0	951.9	387.7	2.4	83.6	34.1
天栄村	4	244	155	4	18	0	233.0	91.0	10.0	33.0	13.0
石川町	6	527	379	9	20	1	449.5	191.0	3.9	35.6	15.1
玉川村	11	305	226	1	11	2	426.1	156.2	3.3	26.4	9.7
平田村	4	220	198	3	16	2	253.2	103.9	4.4	26.8	11.0
浅川町	6	311	222	2	13	3	31.8	121.6	2.1	25.8	9.8
古殿町	9	304	220	5	6	23	131.6	51.5	4.8	20.3	8.0
計	61	3,117	2,367	43	149	34	3,458	1,519	35	340	138

# 消 防 年 報

( 令 和 7 年 版 )

発 行 須賀川地方広域消防組合  
編 集 消防本部警防課  
〒962-0022  
福島県須賀川市丸田町153番地  
TEL 0248-76-3111 FAX 0248-75-3917  
発行年月 令和7年10月  
印 刷 有限会社 和田印刷  
〒962-0057  
福島県須賀川市袋田字守子92-8  
TEL 0248-75-2256 FAX 0248-73-4004